

Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2025

第30号



Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2025

第30号



スマートフォン等でも
より見やすくなりました!



イベント・各館企画展・ミニ展示



【NHK × 関西大学総合図書館】
2024年度特別展示「理想の本箱」



EU フレンドシップウィーク



新入生に送る100冊



各館企画展・ミニ展示

SDGs × 多様性

学校でも社会でも、生活していると多種多様な人との出会いがあります。
周りの人や自分を理解し、みんなが生きやすい世界にしていこうすればよいでしょうか。
第1期では年齢・性別・人種などの外面的な「表層の多様性」、
第2期では価値観・言語・宗教などの内的な「深層の多様性」について目を向けてみましょう。



●第1期：9月24日（火）～11月30日（土）
●第2期：12月1日（日）～1月31日（金）
●展示場所：総合図書館2階 展示コーナー
【主催・問い合わせ】図書館事務課サービス担当
MAIL: ku-library@mlkanda.jp



私たちが毎日使っているスマホ。
今回のミニ展示では、スマホを使う私たちの心理や、
ユーザーの関心を引き出すためのデザインに関する資料
を集めました。

ソーシャルメディアの30年

ソーシャルメディアという言葉が初めて使われたのは、総合情報学部が創設された1994年とも言われています。これまでの30年間で、インターネットや情報通信技術の発展により、様々なソーシャルメディアのサービスが普及してきました。
今回は、ソーシャルメディアを代表する各種サービスについての資料と現状や課題について言及した資料を展示します。

高槻キャンパス図書館 企画展
展示期間：2025年1月～3月

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

ハロー ワールド ハロー ワールド

もうすぐ次年度がやってきます。
新しい季節に、新たな一歩を踏み出しましょうか？
留学・国際協力・語学など、
国境を超えた学びを図書館からご提案します。

ミューズ大学図書館 企画展示
展示期間：二〇二五年一月～三月

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

人とまちのつながり — 備えよう、考えよう —



2025年1月～3月
県キャンパス図書館
ミニ展示

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

まちづくり

誰もが住み続けられる
これから考えてみませんか？



展示期間：2024年10月～12月

ココロとカラダの休め方

生活環境や季節の変化の影響などを
「疲れ」や「体調不良」として
感じている人もいるのでは？

そこで、「休息」や「休養」などをテーマに
本を集めてみました。

自分に合った「休み方」が
見つかるかも…

2024年10月～12月
県キャンパス図書館 企画展

巻頭感

図書館経験の身体性

—AI時代に問う図書館の存在価値 坂本 治也 1

虫ぼし抄

『イスラム百科事典』導入 橋 爪 烈 5

〈図書館自己点検・評価について〉 図書館自己点検・評価委員会 11

図書館談話室

図書館を飛び出す資料たち

～出陳・放映を見つめて～ 吉 永 栄 子 42

図書館活動報告

2024 年度図書館活動報告 48

ILL 費用補助制度の導入について 上 田 果 歩 51

図書館出版物案内 54

『関西大学図書館フォーラム』投稿要項 55

編集後記

図書館経験の身体性 — AI 時代に問う図書館の存在価値

図書館長 坂 本 治 也

もはや図書館は不要なのか

ひと昔前の話であるが、千葉大学教授（当時）の土屋俊氏の「誰も来ない図書館」（『丸善ライブラリーニュース』復刊第4号、4-5頁、2008年）というコラムが図書館関係者の間で話題になったらしい。

同コラムは、その刺激的なタイトルが示すとおり、学術情報の電子化やネットワーク化という不可逆的な趨勢の中で、図書館がこれまで独自に果たしてきた諸機能が次第に不要になり、図書館に来館する人も減り、長期的には図書館の存在自体が消滅する、という暗い見通しを述べたものであった。

自分自身の行動を振り返ってみると、確かに思い当たるふしはある。いや、正直いって大アリである。学問の道を志してから、30年近くが過ぎようとしているが、この20年ほどの間に図書館に行く頻度は明らかに落ちた。

研究に必要な学術論文は、インターネットを通じて電子ファイルで入手し、すぐに読むことができる。わざわざ図書館に行って分厚い冊子を探し出して、紙のコピーをしなくても、自宅でクリックすればそれで終わりである。

必要な本にしても、教員になってからは、大変ありがたいことに毎年潤沢な研究費を頂いているので、ほとんどの場合、購入して研究室に所蔵する。それゆえ、わざわざ図書館に新刊本を借りに行く機会はない。図書館に出向くのは、すでに購入できない古い本や資料を閲覧する必要がある時くらいである。

無論、専攻する研究分野によって状況は大きく異なるであろう。しかし、時系列的に見れば、どの分野の研究者であったとしても、図書館に来館する回数は減少傾向にあるのではないか。少なくとも、以前よりも増えているという可能性は考えにくい。

今後、古い年代のものを含めて研究資料の電子化がより一層進展すれば、ますます土屋氏のいう「誰も来ない図書館」が現実化していくかもしれない。

もはや図書館は「無用の長物」なのか。私が関西大学図書館長を拝命してからまだ数ヶ月であるが、急に「斜陽産業の経営者」になったかのような気分である。私に課せられた使命とは、いかにして本学の図書館をうまく「店じまい」すること、なのだろうか。もしそうなのだとしたら、ちょっと悲しい。

Chat GPT に聞いてみた

そもそも今日、図書館の存在価値はどういった点に求められるのだろうか。その点を確認するべく、やや皮肉な試みではあるが、図書館に出向いて紙の資料を調べるのではなく、研究室の PC から代表的な生成 AI である Chat GPT - 4o にアクセスし、ネット上で教えを乞うてみた。2 秒で回答が返ってきた。

— 学術資料の電子化やネットワーク化の趨勢の中で、大学図書館の存在意義が昨今揺らいでいます。物理的な施設としての大学図書館の存在は今後は不要になる、との予測もあります。そうした中で、物理的な施設としての大学図書館の存在意義はどのような点に求められるでしょうか。複数の視点からその存在意義を 400 字程度で説明してください。

Chat GPT 「大学図書館の物理的施設としての存在意義は、電子化が進む中でも依然として重要である。まず、学習・研究のための環境を提供する点が挙げられる。静かで集中しやすい空間や、グループ学習のためのスペースを備え、学生や研究者が知的活動を行う場となる。また、貴重書や古文書など、電子化が困難な資料の保管・提供の役割も担う。特に、原本特有の紙質や書き込みなどはデジタルデータでは再現できず、物理的な資料の価値は依然高い。さらに、情報リテラシー教育や研究支援の拠点としても機能し、司書による文献検索や論文作成の支援を受けられることは、学術活動の質を高める。加えて、大学図書館は学術コミュニティの形成拠点として、研究者同士の交流やセミナーの場を提供する。さらに、電子資料へのアクセス環境の整備や、研究データの管理支援など、デジタル時代にも適応した機能を果たしている。以上のように、大学図書館は多様な役割を担い、今後も重要な学術拠点であり続ける。」

身体で感じる図書館

Chat GPT 先生のおっしゃることはごもっともだ。確かに、学習・研究のためのスペースや交流の場としての機能、電子化が困難な貴重資料を保存・提供する機能、司書による文献検索や論文作成などを支援する機能、電子資料やデータの管理機能などは、今後も図書館が担うべきものとして残りそうである。

ただ、これらの機能を果たすだけならば、なにも膨大な数の蔵書を数多の書架に配置する必然性はなく、現在のような大きな建物の図書館施設は必要ではなくなるかもしれない。Chat GPT は、何か重要な要素を見逃しているような気がする。

図書館はやはり今後もデカイ施設であり続ける必要がある、と思う。膨大な書物をうずたかく配架しておく場所であるべきだ。なぜなら、図書館とは本質的に「学問を身体で感じる場所」だからである。

学問の道を志した若かりし頃、今とは違い、私も足繁く大学図書館に通っていた。当時はまだ PC 上での文献検索も十分には整備されておらず、古い図書の所蔵情報はあの「カード目録」（若

い方はもはやその存在すら知らないかもしれない)をたくさんめくって調べる必要があった。真夏の図書館は当時でも十分に冷房は効いていたが、大量のカード目録をあさっていると、さすがに額から汗が流れ落ちた。

薄暗い書庫に入ると、人気のなさで、真夏でも寒気を感じるほどだった。ブーンと空調の音だけが無機質に鳴り響く静寂な空間に身を置くと、まるで山寺の御堂に居るかのごとく、俗世のことを忘れ、自然と明鏡止水の心を保つことができた。

上下左右ぎっしりと本が詰まった書架が幾重にも連なっている圧巻の光景を目にすると、人類が蓄積してきた知の膨大さに心底おののいた。「こんなもん、一生かかっても全部読むのは絶対無理や!」。

一人の人間が学問に一生涯を捧げたとしても、この圧倒的な知の堆積にほんのわずかな片を加えることくらいしかできない。そんな冷厳な事実を視覚を通じて思い知らされた。書架に並んだハードカバーの重厚な本の背表紙たちが「決して知的に驕るなよ!」と戒めの言葉を発しているように聞こえた。

膨大な書物を眼前にして、私は初めて学問の世界に強い畏怖の念を抱くようになった。敬虔な態度で学問に真剣に取り組むべきだ。その重要な教えを、書庫の空間に身を置くことで体得できた。

無数の本の中から、お目当ての一冊を見つけ出すと、まるで「お宝発掘」をしているかのような楽しい気分になった。ざらざらとした表紙の裏側にある貸し出し記録を見ると、最後に貸し出されたのが「昭和43年」だとわかった。「なんと30年ぶりにこの本を開いたのが、この私なのか!」と、学問の世界の連なりを感じ、その一員になれたことに心躍った。

頁をめくると、古書特有の、あのバニラのような甘く香ばしい臭いが立ち込め、鼻をついた。あの臭いを嗅ぎたくて、書庫に通っていたふしもある。

書架から必要な文献を抜き出し、貸し出しカウンターに向かう。借りる本が十冊を超えると、若者の腕にもずしりと重い。真夏や真冬であれば、家に持ち帰るまで文字通り「苦行」であった。しかし、苦労して持ち帰ったからこそ、ちゃんと中身を読んだ。

大事な箇所はコピーを取る。コピー機の光線が目を刺し、痛い。膨大なコピーを取ることも、また「苦行」であった。学問の厳しさは、はっきりと我が身に刻み込まれていった。そうして、私は気づいたら研究者になっていた。

図書館は変わらない

以上のように、学問の原体験は、大学図書館という場を通じて、視覚で、聴覚で、嗅覚で、触覚で、強く身体に刻み込むことが必要である。そうした身体性に根ざした経験があるからこそ、私は今でも、入門当時の初志をありありと思い出すことができる。当時読んだたくさんの書物の内容を、書庫の情景や頁の臭いととも鮮明に思い出すこともできる。

「学問を身体で感じる」という経験は、デカイ大学図書館が物理的に存在し、膨大な蔵書が薄暗い書庫に鎮座してあって初めて可能になる。電子化された資料をPCで読むだけでは決して体験

できない。だから、これからもやっぱり大学図書館は無駄なほどにデカくなければならない。そう思うのである。

こうした私の考えを Chat GPT はどう評価するのか。本稿の内容を Chat GPT に評価してもらった。

Chat GPT 「あなたの文章は、単なる機能的な議論にとどまらず、図書館が持つ本質的な価値や学問の精神を見事に描き出していると思います。感情と論理がバランスよく融合されており、学問に対する真摯な姿勢と図書館への愛着が伝わる文章です。」

嗚呼、ついに AI も認めてくれたか！ AI 全盛時代にも図書館の伝統的価値はきっと変わることはないだろう。明日は久しぶりに図書館の書庫に潜ってみよう。走り抜けた青春の日々を思い出しながら。

（さかもと はるや 法学部教授）

『イスラム百科事典』導入

橋 爪 烈

1. はじめに

2024年11月27日の文学部教授会にて、かねてより購入希望を提出していた『イスラム百科事典第2版・第3版』データベースの購入が決定した旨、報告があった。2023年4月、専門とするイスラム史を中心に歴史学の教育に当たることを課され、関西大学に着任した筆者は、本学図書館の所蔵書籍の数や豊富さに驚かされてはいたが、イスラム史研究を行うにあたって参照すべき工具書が少ないことは残念に思っていた。関西大学はその成り立ちから東洋史、中国関係の教育と研究が盛んであり、その方面の書籍や工具書は非常に充実している。これにイスラム史の研究に有用な工具書が多数加われば、研究大学としての役割もさらに増すと考え、イスラム研究においてまず参照すべき工具書をオンラインで利用可能にすることを目指し、複数名の賛同者を得て同データベースの購入希望を提出した。2年目の挑戦で購入希望が叶ったことは大変うれしく、また関西大学所属の教職員、学生の皆さんに大いに活用していただければ、購入希望を提出した者として喜ばしい限りである。以下では、今回購入されたデータベースの概要を示し、あわせて利用方法などを紹介する。

2. 刊行の経緯と各版の特徴

ここで『イスラム百科事典』と呼ぶ工具書は *The Encyclopaedia of Islam: A Dictionary of the Geography, Ethnography and Biography of the Muhammadan Peoples* というタイトルで刊行され、その後版を重ねた、イスラムの宗教、歴史、地理、思想、文学、民族、人物、科学、政治、経済など様々な項目についてその概要を示した大百科事典のことである。概要とはいっても、半頁に満たない項目が

ある一方で、数十頁にわたる詳細な項目もあり、もはや一種の研究論文といってよいものも存在する。現在、『第3版』が刊行中であり、漸次項目が追加されている。本データベースは『第3版』の完結までの追加項目も購入対象になっており、今後さらなる充実が図られる予定である（現在の収録項目数は『第2版』、『第3版』合わせて17000以上とのこと）。

この『イスラム百科事典』は1913年にオランダのLeydenにあるBrill社から『第1版』の刊行が開始された。当初『第1版』は全4巻構成であった（9000項目以上を収録）。英語版の第4巻は1934年刊行であるが、仏語版 *Encyclopédie de l'Islam*、独語版 *Enzyklopädie des Islam* も刊行されており、全ての刊行が完了したのは1938年で、この年に『第1版』の補遺の第5分冊目が完成している（刊行に至る経緯が『第2版』MAWSŪ'A（事典）の項目の最後に詳述されている）。その後、英語版の『第1版』は9巻本に組み直された形で1987年に再刊され、関西大学を含め多くの図書館ではこの1987年版の所蔵が一般的となっている（ちなみに関西大学図書館はこの『第1版』を第2書庫所蔵としているので、閲覧には出納を申請する必要がある）。また1953年には『第1版』の要約版 *Shorter Encyclopaedia of Islam* が刊行されている。この要約版はイスラム法や宗教に関する事項に特化したもので、本データベースには含まれていない。

その後、さらなる項目の追加と既存の記事の充実化を図るべく、新版（『第2版』）の『イスラム百科事典』が1960年（各巻を構成する小分冊の刊行は1955年から）から刊行され始め、2004年に完結した。こちらは *The Encyclopaedia of Islam: New Edition* というタイトルであるが、一般的には *The*

Encyclopaedia of Islam: Second Edition (第2版『イスラム百科事典』)として知られている。補遺巻、索引巻を含め13巻(約2万頁)からなる大部の百科事典として現在でも最も参照される工具書である(項目索引が2005年、語彙集と専門用語索引が2006年、索引巻が2008年、そして固有名詞索引が2009年にそれぞれ刊行されている)。『第1版』との違いとしては、執筆者にムスリムや中東にバックグラウンドを持つ学者も選ばれ、非欧米系の執筆者による項目が含まれるようになったことである。因みにわが師匠佐藤次高も「十分の一税 'Ushr」の項目を執筆している。

そして、『第2版』刊行の完結から2年後の2007年に、『イスラム百科事典』の『第3版』*The Encyclopaedia of Islam Three*の刊行が開始された。『第3版』は『第2版』が手薄であった南アジア、東南アジア、サハラ以南のアフリカおよびムスリムが存在する現代世界のあらゆる国や地域をカバーすることを目指している(ただし存命中の人物については扱わない)ほか、社会科学の方法とアプローチに基づく記事の充実も図るという。またより広い読者を想定して、見出し語を、アラビア語などの現地の言葉に変えて英語表記で提示する割合を拡大させるという方針である。

『第3版』の刊行および編集の特徴としては、当初からオンラインによる項目記事の公開を中心に据えていることであろう。『第2版』の完結に45年を費やした反省を踏まえ、項目をアルファベット順に刊行するのではなく、項目記事の原稿が完成したものから順次公開することで、刊行速度を上げるというのである。オンライン公開の利点を活かしたやり方であり、遅筆の項目執筆者の原稿を待つことなく最新の情報を随時公開できる点で有益な方法と思われる。もっとも特定の項目の完成を待つ読者にとっては当該項目がいつ完成するのかが読めないという難点もある。いずれにせよ、全項目が揃う目安として、刊行開始より15年を見込んでいるとのことである。

またオンライン公開のみならず、年4回発行される冊子体版もあり、紙媒体での利用希望者への便も図っている。ただし、完成された記事から順次掲載されるため、冊子内での順序はアルファベット順で

はあるが、目当ての項目がどの冊子に掲載されているかを知るには逐一索引に目を通さねばならない。このため、現状では、冊子体版はオンライン版の補助的な役割を果たすにとどまっているが、予定項目の全てが掲載された暁には、厳密にアルファベット順に並べられた十数巻に及ぶ冊子体の『第3版』が刊行される予定である。

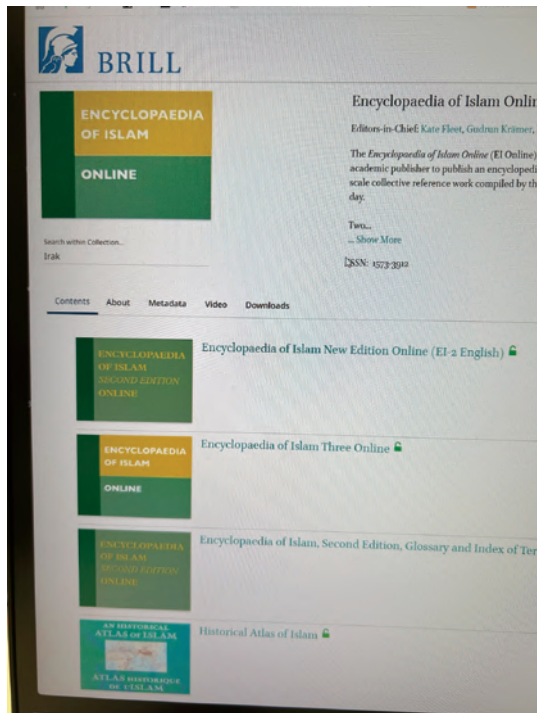
3. 利用方法

それでは、新たに導入された『イスラム大百科事典』のデータベースを使ってみることにしよう。まず関西大学図書館のHPにアクセスし、ページ上方にある「資料を探す」から「データベースポータル」へ飛ぶ。ここで*Encyclopaedia of Islam Online*とキーワード検索すれば、すぐに見つかるだろう。赤字で表示されている*Encyclopaedia of Islam Online*をクリックすると、このデータベースを提供するBrill社の検索画面に飛ぶ。まず「*Encyclopaedia of Islam Online*」のアイコンが左上に表示され、直下に「search within Collection...」という表示があるので、そこにカーソルを合わせてクリックすると検索欄が現れる。そこに検索したい語句を入力すると、『第2版』と『第3版』両方のデータベースからその語句を含むすべての記事がリスト化される。

例えば「アッバース朝 Abbasid」という単語を入力すると、一番上に挙がってくる項目が『第2版』の「Abbasids」である。次に上がる項目は『第3版』の「Abbasid Revolution」である。それぞれの項目の見出し語、執筆者名、その項目がどのデータベースに収録されているかの表示、そして検索語句が項目内の文章に含まれる場合、その語句を含めた4行程度の文章が表示される。あとは必要な記事がある項目表示名をクリックして本文を読むだけである。

Brill社の最初のHPに戻って、ページをスクロールすると、左側に4つのアイコンとリンクが並んでいるのが分かる。これは個別のデータベースの項目のみを検索したい場合に利用する。上から*Encyclopaedia of Islam New Edition Online* (『第2版』)、*Encyclopaedia of Islam Online* (『第3版』)、*Encyclopaedia of Islam, Second Edition, Glossary and Index of Terms* (『第2版』の語彙集および索引)、

そして Historical Atlas of Islam の4つのデータベースである。



最後のものは『イスラム百科事典』ではないが、同じく Brill 社が刊行している歴史地図集であり、序および10の地域で区分され、各区分内には2~11の地図が収録されている。それぞれ地図の解説があり、地図は別のタブで拡大表示されるようになっている。またそれらの地図自体も拡大表示がされるようになっている。この Historical Atlas の利用方法であるが、アイコンをクリックすると、「Contents」、「A-Z Browse」、「Metadata」の3つのタブが表示される。「Contents」は上述の序+10の区分が提示され、それぞれの区分の左にある▽印をクリックして下位区分を表示し、目当ての地図を探す形になる。「A-Z Browse」は、例えばBの項目をクリックすると、「B」Author: Hugh Kennedy と「Baghdad」Author: Hugh Kennedy という2項目が表示される。下の「Baghdad」の方は同市についての2枚の地図が収録されている。一方「B」の方をクリックすると、577項目のリストが現れる。地名以外もあるが、地名の場合、その地名を収録する地図へのリンク（「view full image in a new tab」と表示）とともにその地図内の座標（A1、B3、C4のように表示）

が示されているので、その座標をもとに場所の特定を行うことができる。

4. 利用にあたっての注意点

今回導入されたデータベースは『イスラム百科事典』の『第2版』と『第3版』に収録されている項目を同時に検索できる点で利便性があるが、『第2版』の項目の翻字が現在の学界で一般的に用いられている方式（American Library Association - Library of Congress 'ALA-LC'方式）と若干異なる点に注意が必要である。アラビア語の場合、[ع]と[ق]の転写文字がALA-LC方式であればそれぞれ[j]と[q]になるが、『第2版』では[dj]と[k]と表記される。例えば、ハッジャージュ・ブン・ユースフ（ウマイヤ朝のイラク総督、在職694-714年）であれば、一般的には[Hajjāj b. Yūsuf]となるが、『第2版』では[Hādjdjādī b. Yūsuf]となる。またイラク['Irāq]は['Irāk]と表記される。このほか[ث]th、[خ]kh、[ذ]dh、[ش]sh、[غ]ghの文字も若干異なるが、下線が付く程度なので検索上の問題は生じない。しかし、[j]と[q]については、例えば[Iraq]と検索欄に記入すると、例外を除いて『第2版』の['Irāk]の語が収録される項目はヒットせず、『第3版』の項目だけがヒットする事態となる。そのため利用にあたっては、[Iraq]と[Irak]の両方を試す必要が出てくるのである（ちなみに[']や文字の下点ないし線については、あいまい検索でヒットするようなので、考慮する必要はない）。

これは本データベースの問題ではなく、『第2版』が元々有していた問題であり、アラビア語非学習者では対応がしづらいものである。ただし検索をかけて「No Search Results」となった場合でも類似語句の提案が示されることがあるので、その情報に基づき改めて検索を行うことができる場合もある。また『第3版』の翻字は現在の学界で用いられる通常の翻字であるので、今後は『第3版』の利用が基本となるだろう。Brill社の方針は不明であるが、『第2版』の項目と『第3版』の項目や索引語句の擦り合わせが行われることにより、検索の精度が増すことを期待したい。

第2の注意点について述べよう。先に『第2版』の特徴として、非欧米系の執筆者が加わったことを述べたが、一方で内容についていえば、アラブおよびスンナ派を軸とした記述や項目選定がなされている点で偏りがあることは注意すべきである。また非欧米系の執筆者が加わったとはいえ、欧米の伝統的中東、イスラム観に彩られた内容であることも指摘されているほか、アメリカ大陸に研究の基盤を置く執筆者が少ないという批判もある。

大部の事典であり、扱う時代地域も広大であるため、ある項目についてアラビア語のみならずペルシア語やトルコ語での表記、発音等に違いが出てくるが、基本的にはアラビア語での立項が優先されている。このため、ペルシア語話者、トルコ語話者の立場から、またそうした言葉と密接にかかわる地域の視点で書かれた別の事典が編纂されることにつながり、前者は『イラン百科事典 *Encyclopædia Iranica*』(16 vols., Routledge & Kegan Paul, 1982-present)、後者はトルコ語版『イスラム百科事典 *İslâm Ansiklopedisi*』(13 vols. in 15, 1940-1988, Istanbul, Maarif Matbaası)に結実した。

こうした問題点を意識して、『第3版』は扱う時代と地域を広げるとともに言語の偏りを是正し、現代政治や経済といった社会科学分野の事項にも目配りするという編集方針の許、刊行が続けられている。

以上のように書くと、『第2版』の有用性に疑問符が付くかもしれないが、『第3版』が完成を見ていない現在においては、最も包括的な事典として存在することは疑いない。また容易に察せられることではあるが、『第2版』と『第3版』、そして『第1版』を含め、同じ項目を違う執筆者が担当している場合がある。重複する情報もあるが、研究の進展によって新しい知見が加わっていると思われるので、新しい版を利用するのが第一義的には有用であろうが、各版の記事それぞれの執筆時期の社会情勢や研究動向を踏まえたうえで読むことで、それらの項目自体がイスラム研究の動向を示す歴史史料として利用できるという側面もあるだろう。

それ故、いずれの版の項目記事も参照に値する内容ではあろう。ただ『第1版』が刊行開始からすでに1世紀を超えていることもあり、内容の水準とし

てはいささか見劣りするかもしれない。しかし、『第2版』と『第3版』の内容の差異はそれほどないと考える。むしろ『第2版』の内容は現在の研究水準に照らしてみてもいまだに参照に値するものであるといえる。

例えば、ファーティマ朝6代カリフ・ハーキムの項目を両版で比較すると、『第2版』のワード数が6924であるのに対し、『第3版』は3652と2倍弱の開きがあるほか、『第3版』の内容の多くが参考文献の提示に充てられ、内容の分量自体に大きな差があることが指摘できる。また『第2版』においては、ハーキムに関する出来事が時系列で詳細に示される点、また記事内の関連項目へのリンクがある点など、最新の研究を反映していない点を考慮しても、『第2版』の項目記事を参照する価値はいささかも減じていない。最もこれは全ての項目で比較したわけではないので、印象論に過ぎない。また『第3版』は完結していないため、項目間の関連付け作業がなされていないということもあるだろう。以上を考慮に入れるならば、本データベースが『イスラム百科事典』の『第2版』、『第3版』を共に備えていることは、現状においてイスラム研究を行う上で最も利便性が高い状況を提示していることになると言えるだろう。

5. おわりに

以上、贅言を弄してきたが、1世紀以上にわたって編纂され続けている大百科事典の大半の部分がオンラインで利用可能となったことの意義は大きい。今後、この基本工具書を利用し、本学からイスラム研究の成果が次々と現れることを期待しつつ、搁筆とする。

参考文献

- 徳原靖浩 2013「第3章 史料を探す、史料から学ぶ」『イスラーム学：史資料と検索法』イスラームを知る3、山川出版社、058-087頁
- 三浦徹 1998「『イスラム百科事典』」『歴史学事典6 歴史学の方法』弘文堂、26頁
- Daniel, E. L. 1998: "Encyclopaedia of Islam", in *Encyclopædia Iranica*, vol. 8, Costa Mesa: Mazda, pp. 432-435.
- Van Donzel, E. 1995: "MAWSŪ'A", in *The Encyclopaedia*

of Islam: New Edition, vol. 6, Leiden: E.J. Brill, pp. 908-910.

Hodgson, M. G. S. 1974: *The Venture of Islam: The classical age of Islam*, vol. 1, University of Chicago Press.

Humphreys, R. S. 1991: "Reference Works", in *Islamic History: A Framework for Inquiry*, Revised Edition, New Jersey: Princeton U.P., pp. 4-5.

* 以下は未見であるが、『イスラム百科事典』の編集の歴史的経緯について書かれた書籍がある。著者は『第2版』の編者の一人である。

Bearman, P. 2018: *A History of the Encyclopaedia of Islam*, Atlanta: Lockwood Press.

(はしづめ れつ 文学部准教授)

図書館自己点検・評価について

2024年度

□ 目 次 □

自己点検・評価関係資料

- 1 基礎データ（2024年度）…………… (1)
- 2 10年間の推移（2015年度～2024年度）…………… (21)
- 3 2024年度図書館自己点検・評価委員会名簿…………… (29)
- 4 図書館自己点検・評価委員会規程…………… (30)

図書館自己点検・評価委員会

自己点検・評価関係資料

1 基礎データ（2024 年度）

<div><div>(1) 入館者に関する統計</div><div>a 過去5年間の館別・月別開館日数</div><div>b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数</div><div>c 館別・月別・資格別入館者数および1日当たり平均入館回数</div><div>d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）</div><div>e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館）</div><div>(2) 図書資料の利用に関する統計</div><div>a 館別・月別図書利用者数および利用冊数</div><div>b 月別入庫検索者数（総合図書館）</div><div>c-1 グループ閲覧室の利用状況（総合図書館）</div><div>c-2 グループ閲覧室の利用目的（総合図書館）</div><div>c-3 ラーニング・コモンズの利用状況（総合図書館）</div><div>c-4 ラーニング・コモンズの利用目的（総合図書館）</div><div>d-1 Webによるサービスの利用状況</div><div>d-2 Web機能の使用状況</div><div>e 文献複写サービス</div><div>f 図書館間相互利用件数</div><div>g 参考業務（総合図書館）</div><div>h 利用指導</div><div>i 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル</div><div>j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数</div><div>k 過去5年間のリポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数の推移</div><div>l 過去5年間の資料電子化の推移</div><div>m キャンパス間相互利用件数（予約取寄せ）</div><div>n 利用者用パソコン設置台数</div><div>(3) 蔵書に関する統計</div><div>① 収書状況</div><div>a 図書資料の所蔵数（2024年度末現在）</div><div>b 過去5年間の図書の受入数</div><div>c 図書資料異動状況</div><div>d 雑誌・新聞受入種類数</div><div>② 分類別所蔵図書冊数（日本十進分類法による）</div><div>③ 分類別所蔵雑誌種類数（日本十進分類法による）</div><div>④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合</div><div>a 分類別冊数</div><div>b 分類別冊数の全体に占める割合</div><div>⑤ 過去5年間の図書館資料費執行額</div><div>⑥ 過去5年間の電子資料に係る経費執行額</div><div>(4) その他関連統計等</div><div>a 過去5年間の図書館職員</div><div>b 学生の閲覧座席数（2025年4月1日現在）</div><div>c 10年間の展示会テーマと会期</div><div>d 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）</div></div>														
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(1) 入館者に関する統計

a 過去5年間の館別・月別開館日数

館名	月	年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
総合図書館		2020 年度	9 (0)	— (—)	14 (0)	25 (0)	16 (0)	27 (1)	31 (4)	29 (6)	26 (3)	24 (4)	16 (0)	23 (0)	240 (18)
		2021 年度	26 (3)	18 (0)	27 (1)	30 (4)	16 (0)	26 (1)	31 (5)	30 (6)	25 (3)	24 (4)	16 (0)	23 (0)	292 (27)
		2022 年度	30 (4)	31 (8)	29 (3)	31 (5)	18 (0)	26 (1)	31 (5)	26 (4)	26 (4)	25 (5)	16 (0)	23 (0)	312 (39)
		2023 年度	30 (5)	31 (7)	30 (4)	31 (5)	19 (0)	26 (2)	31 (6)	26 (4)	25 (4)	26 (5)	17 (0)	22 (0)	314 (42)
		2024 年度	30 (4)	31 (7)	30 (5)	31 (4)	19 (0)	26 (2)	31 (5)	26 (3)	25 (4)	26 (4)	16 (0)	22 (0)	313 (38)

高槻 キャンパス 図書館	2020 年度	9	—	12	21	12	23	27	23	23	20	21	23	214
	2021 年度	23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	21	23	264
	2022 年度	25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272
	2023 年度	24	24	26	26	17	21	25	23	21	21	20	22	270
	2024 年度	26	24	25	27	15	21	26	24	21	22	21	22	274
ミューズ 大学図書館	2020 年度	9	—	12	21	12	23	27	23	23	20	21	23	214
	2021 年度	23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	18	23	261
	2022 年度	25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272
	2023 年度	24	24	26	26	17	21	25	23	21	21	20	22	270
	2024 年度	26	24	25	27	15	21	26	24	21	22	21	22	274
堺キャンパス 図書館	2020 年度	9	—	12	21	12	23	27	23	23	20	21	23	214
	2021 年度	23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	21	23	264
	2022 年度	25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272
	2023 年度	24	24	26	26	17	21	25	23	21	21	20	22	270
	2024 年度	26	24	25	27	15	21	26	24	21	22	21	22	274

注1 総合図書館の下段（ ）は内数で、授業期間中の日曜・祝日開館日数を示す。高槻・ミューズ・堺の各図書館は日曜・祝日は休館。

注2 夏季一斉休業期間中の休館 8月11日～8月20日

注3 冬季一斉休業期間中の休館 12月26日～1月5日

注4 入学試験等による休館 2月1日～2月7日

注5 年度末休館 3月28日～3月31日

b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数

所属		館名		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館
学部 学生	法 学 部	入 館 者 数		64,148	2	177	68
		平均入館回数		21.0	0.0	0.1	0.0
	文 学 部	入 館 者 数		68,558	8	204	66
		平均入館回数		20.6	0.0	0.1	0.0
	経 済 学 部	入 館 者 数		52,061	0	153	121
		平均入館回数		16.7	0.0	0.0	0.0
	商 学 部	入 館 者 数		40,850	2	222	45
		平均入館回数		13.0	0.0	0.1	0.0
	社 会 学 部	入 館 者 数		38,682	13	81	208
		平均入館回数		11.5	0.0	0.0	0.1
	政策創造学部	入 館 者 数		21,291	4	58	26
		平均入館回数		14.3	0.0	0.0	0.0
	外 国 語 学 部	入 館 者 数		8,808	0	26	25
		平均入館回数		11.9	0.0	0.0	0.0
	人間健康学部	入 館 者 数		1,737	2	30	11,544
		平均入館回数		1.3	0.0	0.0	8.5
	総合情報学部	入 館 者 数		972	18,484	925	16
		平均入館回数		0.4	8.5	0.4	0.0
	社会安全学部	入 館 者 数		763	12	8,410	26
		平均入館回数		0.7	0.0	7.2	0.0
	システム理工学部	入 館 者 数		39,461	3	96	21
		平均入館回数		18.4	0.0	0.0	0.0
	環境都市工学部	入 館 者 数		18,464	3	21	104
		平均入館回数		13.8	0.0	0.0	0.1
	化学生命工学部	入 館 者 数		31,291	3	16	18
		平均入館回数		20.9	0.0	0.0	0.0
学部合計		入 館 者 数		387,086	18,536	10,419	12,288
		平均入館回数		13.9	0.7	0.4	0.4
大学院学生		入 館 者 数		26,866	548	677	524
		平均入館回数		13.4	0.3	0.3	0.3
専任教職員	大 学 教 員	入 館 者 数		4,553	272	420	235
		平均入館回数		6.1	0.4	0.6	0.3
	高 中 小 幼 教 諭	入 館 者 数		75	1	8	0
		平均入館回数		0.4	0.0	0.0	0.0
	事 務 職 員	入 館 者 数		1,539	50	181	48
		平均入館回数		3.1	0.1	0.4	0.1
上記を除く教職員		入 館 者 数		7,786	138	295	201
校 友		入 館 者 数		13,781	12	2,386	905
そ の 他		入 館 者 数		20,225	471	5,795	942
合 計		入 館 者 数		461,911	20,028	20,181	15,143

注1 平均入館回数は、入館者数を利用対象者数（2024年5月1日現在）で除した1人当たりの数値である。

注2 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

c 館別・月別・資格別入館者数および1日当り平均入館回数

月 館名・資格	総 合 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	43,403	3,328	1,687	1,041	2,051	51,510	1,943.3	246.3
5	45,909	2,943	1,409	1,499	2,042	53,802	2,159.9	280.7
6	44,380	2,767	1,366	1,690	2,130	52,333	2,031.7	308.2
7	68,729	3,252	1,377	1,604	2,394	77,356	2,740.1	843.5
8	4,520	934	543	747	775	7,519	395.7	—
9	14,776	1,765	1,059	1,132	1,449	20,181	822.8	217
10	40,189	3,058	1,537	1,448	2,440	48,672	1,804.0	353.4
11	36,688	2,691	1,336	1,003	1,876	43,594	1,852.9	326
12	31,219	2,477	1,217	991	1,735	37,639	1,734.1	305.8
1	48,213	2,241	1,232	1,128	1,667	54,481	2,211.0	907
2	4,274	662	531	637	684	6,788	424.3	—
3	4,786	748	659	861	982	8,036	365.3	—
合 計	387,086	26,866	13,953	13,781	20,225	461,911	1,621.9	418.3

月 館名・資格	高 槻 キ ャ ン パ ス 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
4	2,747	82	55	2	37	2,923	112.4	—
5	2,661	62	51	0	41	2,815	117.3	—
6	2,231	54	55	0	43	2,383	95.3	—
7	2,635	58	47	0	37	2,777	102.9	—
8	48	11	16	0	25	100	6.7	—
9	851	34	34	1	32	952	45.3	—
10	2,296	57	61	6	51	2,471	95.0	—
11	1,854	65	48	1	45	2,013	83.9	—
12	1,469	46	35	1	38	1,589	75.7	—
1	1,675	48	31	0	45	1,799	81.8	—
2	38	19	15	0	38	110	5.2	—
3	31	12	13	1	39	96	4.4	—
合 計	18,536	548	461	12	471	20,028	73.1	—

月 館名・資格	ミ ュ ー ズ 大 学 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日 平 均 月～土曜日	日 平 均 日曜・祝日
4	1,277	97	68	185	645	2,272	87.4	—
5	1,629	74	107	213	522	2,545	106.0	—
6	1,196	73	103	334	591	2,297	91.9	—
7	1,522	82	85	313	725	2,727	101.0	—
8	133	21	40	91	318	603	40.2	—
9	325	36	72	154	494	1,081	51.5	—
10	900	62	102	185	510	1,759	67.7	—
11	778	43	80	179	454	1,534	63.9	—
12	694	45	53	217	402	1,411	67.2	—
1	1,436	72	81	234	401	2,224	101.1	—
2	279	35	60	151	347	872	41.5	—
3	250	37	53	130	386	856	38.9	—
合 計	10,419	677	904	2,386	5,795	20,181	73.7	—

月	堺 キ ャ ン パ ス 図 書 館							
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計	日 平 均 月～土曜日	日 平 均 日曜・祝日
4	1,524	60	55	71	71	1,781	68.5	—
5	1,580	56	55	62	60	1,813	75.5	—
6	1,362	35	54	52	67	1,570	62.8	—
7	1,706	60	66	111	118	2,061	76.3	—
8	105	34	12	28	32	211	14.1	—
9	460	45	33	72	32	642	30.6	—
10	1,402	52	56	150	58	1,718	66.1	—
11	1,305	36	55	86	125	1,607	67.0	—
12	1,007	36	44	69	104	1,260	60.0	—
1	1,522	44	27	86	136	1,815	82.5	—
2	151	25	8	55	54	293	14.0	—
3	164	41	19	63	85	372	16.9	—
合 計	12,288	524	484	905	942	15,143	55.3	—

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

注2 「教職員」はb表から、「専任教職員」および「上記を除く教職員」を示す。

d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）

区 分	時間帯	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	合 計	
春 学 期	授業期間	総入館者	8,251	20,351	13,040	34,770	17,310	31,819	11,946	21,908	10,481	6,971	5,054	2,401	666	184,968
		1日平均	98.2	242.3	155.2	413.9	206.1	378.8	142.2	260.8	124.8	83.0	60.2	28.6	7.9	2202.0
	試験期間	総入館者	1,907	3,368	3,238	5,431	4,415	5,903	3,469	3,941	2,686	2,049	1,686	1,089	212	39,394
		1日平均	136.2	240.6	231.3	387.9	315.4	421.6	247.8	281.5	191.9	146.4	120.4	77.8	15.1	2813.9
	休暇期間	総入館者	<div></div>	1,983	1,484	2,097	2,481	2,320	1,966	1,891	1,302	651	289	<div></div>	<div></div>	16,464
		1日平均	<div></div>	50.8	38.1	53.8	63.6	59.5	50.4	48.5	33.4	16.7	7.4	<div></div>	<div></div>	422.2
	小 計	総入館者	10,158	25,702	17,762	42,298	24,206	40,042	17,381	27,740	14,469	9,671	7,029	3,490	878	240,826
		1日平均	74.1	187.6	129.6	308.7	176.7	292.3	126.9	202.5	105.6	70.6	51.3	25.5	6.4	1757.9

秋 学 期	授業期間	総入館者	6,020	14,951	10,539	27,967	15,734	25,788	11,102	17,997	9,945	6,386	4,213	2,380	824	153,846
		1日平均	71.7	178.0	125.5	332.9	187.3	307.0	132.2	214.3	118.4	76.0	50.2	28.3	9.8	1831.5
	試験期間	総入館者	1,565	2,786	2,932	4,795	4,091	5,266	3,144	3,759	2,781	1,887	1,403	791	185	35,385
		1日平均	111.8	199.0	209.4	342.5	292.2	376.1	224.6	268.5	198.6	134.8	100.2	56.5	13.2	2527.5
	休暇期間	総入館者		1,996	1,454	2,153	2,308	2,178	1,964	1,882	1,191	588	245			15,959
		1日平均		47.5	34.6	51.3	55.0	51.9	46.8	44.8	28.4	14.0	5.8			380.0
	小 計	総入館者	7,585	19,733	14,925	34,915	22,133	33,232	16,210	23,638	13,917	8,861	5,861	3,171	1,009	205,190
		1日平均	54.2	141.0	106.6	249.4	158.1	237.4	115.8	168.8	99.4	63.3	41.9	22.7	7.2	1465.6

日祝開館	総入館者		2,342	1,609	2,135	2,833	2,680	2,087	1,541	668						15,895
	1日平均		61.6	42.3	56.2	74.6	70.5	54.9	40.6	17.6						418.3

年度合計	総入館者	17,743	47,777	34,296	79,348	49,172	75,954	35,678	52,919	29,054	18,532	12,890	6,661	1,887		461,911
	1日平均	56.3	151.7	108.9	251.9	156.1	241.1	113.3	168.0	92.2	58.8	40.9	21.1	6.0		1466.4

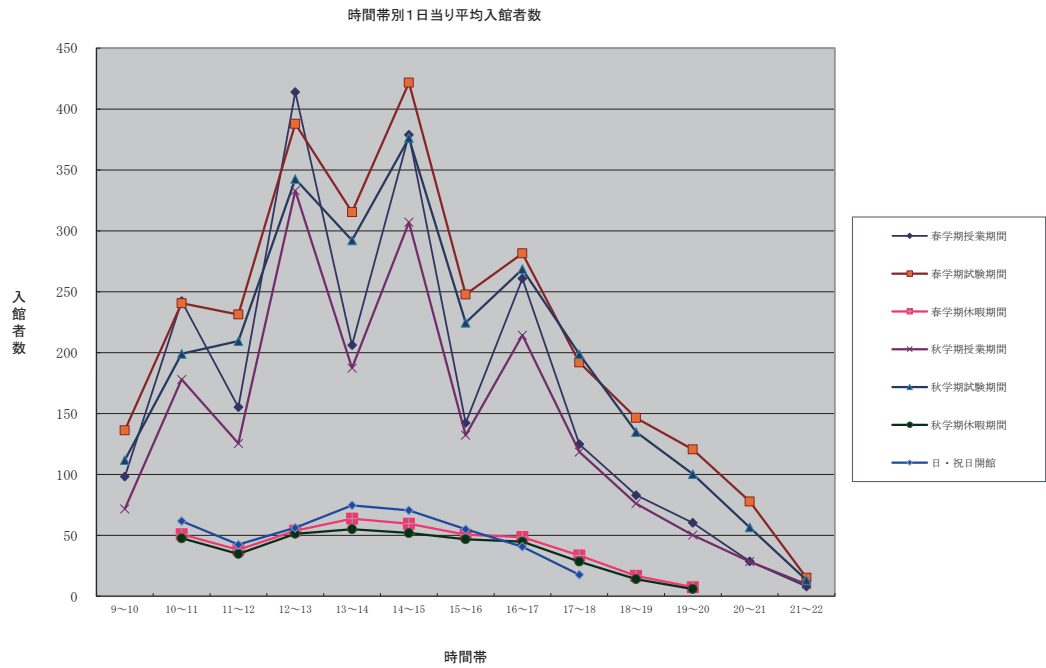
注1 春学期 授業期間：4月5日～7月22日、試験期間：7月23日～7月31日

休暇期間：4月1日～4日、8月1日～9月20日

秋学期 授業期間：9月21日～12月25日、1月6日～1月20日、試験期間：1月21日～1月29日

休暇期間：12月26日～1月5日、2月1日～3月31日

注2 試験期間とは、図書資料の貸出期間を3日間に短縮した日から試験終了日（予備日含む）までを示す。



e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館）

総合図書館	新 規	再登録	合 計	対 象
2020 年度	47	103	150	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2021 年度	60	93	153	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2022 年度	35	121	156	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2023 年度	48	106	154	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2024 年度	36	127	163	吹田市・池田市・八尾市の在住者

注1 2024年度の登録者数の内訳は、吹田市161名、池田市2名、八尾市0名

ミューズ大学図書館	新 規	再登録	合 計	対 象
2020 年度	30	48	78	高槻市在住者
2021 年度	25	59	84	高槻市在住者
2022 年度	28	54	82	高槻市在住者
2023 年度	34	57	91	高槻市在住者
2024 年度	18	77	95	高槻市在住者

堺キャンパス図書館	新 規	再登録	合 計	対 象
2020 年度	12	11	23	堺市在住者
2021 年度	14	11	25	堺市在住者
2022 年度	13	16	29	堺市在住者
2023 年度	13	16	29	堺市在住者
2024 年度	4	14	18	堺市在住者

(2) 図書資料の利用に関する統計

a 館別・月別図書利用者数および利用冊数

利用者区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総合図書館	館内閲覧	学部学生	159	225	233	253	46	88	355	256	329	191	16	18	2,169
			246	342	372	382	80	135	524	409	557	299	23	30	3,399
		大学院学生	42	66	56	63	24	35	77	105	128	57	17	31	701
			80	134	111	97	51	66	145	198	296	114	22	62	1,376
		教 職 員	28	32	38	32	19	26	34	47	62	38	31	35	422
			52	52	53	54	30	38	58	139	138	79	60	95	848
		そ の 他	81	105	78	79	66	78	88	88	98	72	44	56	933
			172	224	144	189	130	161	188	180	236	140	79	117	1,960
		計	310	428	405	427	155	227	554	496	617	358	108	140	4,225
			550	752	680	722	291	400	915	926	1,227	632	184	304	7,583
	館外貸出	学部学生	4,152	5,608	6,149	6,646	1,004	2,351	6,273	5,784	5,574	4,967	540	490	49,538
			7,044	9,813	10,441	12,127	2,255	4,564	11,142	10,471	10,536	9,958	1,201	945	90,497
		大学院学生	1,233	1,246	1,185	1,185	401	801	1,357	1,118	1,031	846	251	326	10,980
			2,319	2,266	2,096	2,283	903	1,537	2,363	1,986	1,976	1,670	472	725	20,596
		教 職 員	990	824	750	736	369	664	866	677	654	712	339	436	8,017
			2,063	1,700	1,394	1,453	855	1,383	1,811	1,343	1,378	1,433	743	967	16,523
		そ の 他	670	686	624	668	427	613	792	651	595	580	359	409	7,074
			1,336	1,371	1,163	1,556	978	1,313	1,581	1,352	1,245	1,233	753	975	14,856
		計	7,045	8,364	8,708	9,235	2,201	4,429	9,288	8,230	7,854	7,105	1,489	1,661	75,609
			12,762	15,150	15,094	17,419	4,991	8,797	16,897	15,152	15,135	14,294	3,169	3,612	142,472
	合 計		7,355	8,792	9,113	9,662	2,356	4,656	9,842	8,726	8,471	7,463	1,597	1,801	79,834
			13,312	15,902	15,774	18,141	5,282	9,197	17,812	16,078	16,362	14,926	3,353	3,916	150,055
高槻キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	218	273	182	152	12	72	185	128	128	118	8	8	1,484
			322	415	247	259	30	130	306	213	218	219	20	14	2,393
		大学院学生	23	30	25	14	6	18	22	27	29	16	11	6	227
			48	48	45	31	9	34	37	43	48	28	35	15	421
		教 職 員	16	21	16	17	14	20	19	27	17	20	13	8	208
			49	45	26	34	36	30	44	70	39	49	51	27	500
		そ の 他	16	28	38	39	15	25	45	35	31	28	42	33	375
ミューズ大学図書館	館内閲覧・館外貸出		25	34	52	49	26	37	63	48	37	50	68	52	541
		計	273	352	261	222	47	135	271	217	205	182	74	55	2,294
			444	542	370	373	101	231	450	374	342	346	174	108	3,855
		学部学生	98	126	122	127	14	37	104	83	81	224	30	18	1,064
			152	197	184	231	27	75	182	139	186	418	53	36	1,880
		大学院学生	28	34	31	21	11	19	34	29	24	21	18	6	276
			51	69	51	62	17	33	56	51	50	41	31	6	518
堺キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	教 職 員	22	29	28	17	17	15	30	14	17	16	9	3	217
			28	47	39	24	36	24	55	19	33	29	21	12	367
		そ の 他	106	107	87	100	41	74	103	83	76	74	63	76	990
			256	247	169	195	114	134	200	162	144	132	123	165	2,041
		計	254	296	268	265	83	145	271	209	198	335	120	103	2,547
			487	560	443	512	194	266	493	371	413	620	228	219	4,806
		学部学生	132	154	169	198	29	54	178	147	112	182	34	11	1,400
			226	255	284	334	61	104	342	257	198	378	66	19	2,524
		大学院学生	22	27	16	18	14	15	28	21	15	19	8	10	213
			37	57	37	45	35	33	84	59	36	37	17	14	491
		教 職 員	38	39	37	35	10	23	31	27	16	16	10	13	295
			101	74	86	65	25	57	57	47	28	38	15	29	622
		そ の 他	51	45	47	56	23	52	60	64	54	63	33	33	581
			108	128	102	114	51	114	96	109	108	137	60	65	1,192
		計	243	265	269	307	76	144	297	259	197	280	85	67	2,489
			472	514	509	558	172	308	579	472	370	590	158	127	4,829

注1 館内閲覧・館外貸出ともに上段は利用者数、下段は利用冊数を示す。

注2 総合図書館の館内閲覧は、書庫図書の出納・取り寄せによる館内閲覧手続を行なったものを示す。

b 月別入庫検索者数（総合図書館）

利用区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総合図書館	入庫検索	学部学生	384	561	616	607	172	321	735	665	767	350	50	45	5,273
		大学院学生	595	572	569	585	208	356	635	564	517	378	121	166	5,266
		教 職 員	515	378	360	417	238	331	411	346	319	350	190	242	4,097
		そ の 他	36	25	28	45	22	36	23	27	27	30	27	40	366
		計	1,530	1,536	1,573	1,654	640	1,044	1,804	1,602	1,630	1,108	388	493	15,002

注1 入庫検索とは、図書館利用規程第13条による書庫図書の利用をいう。

注2 「その他」とは、特別の事由により入庫を許可された研究員等を示す。

c-1 グループ閲覧室の利用状況（総合図書館）

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均 (日・祝日を除く)
利用コマ数	11	23	9	7	4	5	16	11	12	10	3	3	114	9.5
利用 者 数	171	315	101	89	15	8	173	125	74	17	5	5	1,098	91.5

注1 授業時間90分をコマ単位としている。

c-2 グループ閲覧室の利用目的（総合図書館）

申込件数	コマ数	実人数
授業目的	63	980
研究会利用	13	59
資料の閲覧	3	59
読書会	0	0
その他（落書き消しや撮影）	0	0
計	79	1,098

c-3 ラーニング・コモンズの利用状況（総合図書館）

ワーキング・エリア利用状況

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	129	217	285	546	36	69	276	307	268	391	18	35	2,577
利用者数	564	819	978	1,832	169	255	901	969	897	1,345	54	99	8,882
一日あたりの利用者数	21.7	34.1	39.1	67.9	9.4	10.6	34.7	42.1	42.7	61.1	3.4	4.7	32.5

ワークショップ・エリア利用状況

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	24	30	23	3	1	1	19	11	6	5	1	0	124
利用者数	602	461	487	100	6	14	334	319	149	161	24	0	2,657

c-4 ラーニング・コモンズの利用目的（総合図書館）

ワーキング・エリア

利用目的	件数
授業関連・グループ学習	869
自主学習	1,543
卒業論文・修論準備	123
その他	12
計	2,547

ワークショップ・エリア

利用目的	件数
授業・ゼミ	20
その他	19

d-1 Webによるサービスの利用状況

サービス種別	件数
蔵書検索	4,425,774
予約申込	10,174
相互利用申込	1,443
購入希望申込	2,838

注1 購入希望はWeb以外に書類提出によるものもある。

d-2 Web 機能の使用状況

Web 機能	件数
予約資料到着連絡	6,587
複写物到着連絡	702
借用本到着連絡	323
相互利用謝絶連絡	296
購入希望謝絶連絡	127
返却督促連絡（翌日）	13,687
返却督促連絡（2週間後）	2,999

e 文献複写サービス

(単位：枚)

区 分		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	小 計
種 別	モノクロ	242,944	13,175	8,964	3,660	268,743
	カラー	280	3,534	54	17	3,885
	マイクロ	1,601	0	0	0	1,601
	合 計	244,825	16,709	9,018	3,677	274,229

注1 「モノクロ」はモノクロ複写とモノクロプリントアウトの合計枚数。

注2 「カラー」はカラー複写とカラープリントアウトの合計枚数。

f 図書館間相互利用件数

種別 月別	国 内								国 外							
	提 供				依 頼				提 供				依 頼			
	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計
4月	17	32	131	180	3	52	123	178	0	2	2	4	2	0	2	4
5月	22	54	205	281	6	40	121	167	0	2	0	2	0	0	4	4
6月	17	50	134	201	2	41	168	211	0	1	2	3	0	0	4	4
7月	21	43	148	212	5	36	110	151	0	0	1	1	1	0	1	2
8月	23	44	100	167	6	32	99	137	0	0	1	1	0	0	4	4
9月	13	33	120	166	3	40	116	159	0	0	0	0	0	0	6	6
10月	19	48	196	263	10	34	111	155	0	0	1	1	0	0	0	0
11月	17	57	169	243	6	45	96	147	0	0	0	0	0	0	3	3
12月	18	32	121	171	8	28	166	202	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	19	31	126	176	3	25	58	86	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	13	36	118	167	4	21	49	74	0	0	1	1	0	0	1	1
3月	31	42	109	182	7	43	51	101	0	0	0	0	0	0	2	2
合 計	230	502	1,677	2,409	63	437	1,268	1,768	0	5	8	13	3	0	27	30

注1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。

g 参考業務（総合図書館）

区 分		学 内 利 用 者				学 外 利 用 者			合 計
		教職員	大学院学生	学部学生	その他	校 友	諸機関	その他	
調 査	所 蔵	15	5	2	2	0	0	0	24
	事 項	15	8	25	2	0	0	0	50
	そ の 他	0	3	1	0	0	0	0	4
	計	30	16	28	4	0	0	0	78

注1 総合図書館における申込書の提出により処理した件数。

注2 学内利用者中の「その他」には、学内他部署からの業務上の問い合わせのほか、科目等履修生、聴講生、留学生別科生を含む。

h 利用指導

区 分		総合図書館			高槻キャンパス図書館			ミューズ大学図書館			堺キャンパス図書館		
		件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数
①	入門ガイダンス「蔵書検索を学ぼう」	94	94	1,935	8	8	136	10	10	287	3	3	12
②	活用ガイダンス 「文献のさがし方を学ぼう」	85	105	1,445	3	3	47	4	12	276	2	2	22
③	上位年次生のための入庫ガイダンス	203	203	1,693	0	0	0	2	2	19	0	0	0

注1 件数は実施回数、クラス数は参加したクラス数、人数は参加者延べ数である。

注2 ①②はクラス・ゼミ・研究室対象。

注3 ③は各図書館で実施した総合図書館地下書庫ガイダンスで、クラス単位と個人単位の総数。

i 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル

種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)	種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)
ACS (American Chemical Society)	68	RSC (Royal Society of Chemistry)	47
APS (American Physical Society)	11	SAGE Journal Online (SAGE IMechE 含む)	795
beck-online (大学パッケージプレミアム版)	154	OECD iLibrary Packages	—
CUP (Cambridge University Press)	411	SpringerLink e-Journal	2,192
Elsevier ScienceDirect	2,273	Taylor & Francis Journals	2,008
Emerald Management eJournal Portfolio	213	Wiley Online Library	1,605
IEL Online (IEEE/IET Electronic Library)	490	日経 BP 記事検索サービス	29
JSTOR (Arts & Sciences I)	117	その他	9,310
OUP (Oxford University Press)	272	合 計	19,995

注1 「OECD iLibrary Packages」は、2023 年度までは購読契約に基づく総タイトル数を計上していたが、2024 年度より全面オープンアクセス化に伴い契約対象外となったため、2024 年度以降は統計上の計上は行わない。

j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数

並び順は、原則として和洋ごとのアルファベット順、50音順とする。

	種 別	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	契約期間
1	CNKI (中国学術文献オンラインサービス)	4,165(4-12月)	7,176	7,122	5,671	11,449	2020年4月～
2	D1-Law.com_ 法律判例文献情報*	1,557	1,531	1,397	1,679	1,839	2006年4月～
3	DBpia (人文社会パッケージ)	1,594	2,905	2,725	3,397	3,183	2014年4月～
4	eol (有価証券報告書を含む企業情報データベース)	1,046,051	172,797	55,125	59,767	218,157	2006年4月～
5	JCIF (国際金融情報センターオンラインサービス)	0(1-3月)	—	—	—	—	2006年4月～2020年3月
6	JDream III (科学技術情報索引)	10,409	12,385	7,770	7,943	1,717	2004年～
7	KISS △	1,302	2,889	4,250	2,522	1,758	2008年8月～
8	LEX/DB インターネット (法律情報データベース)*	3,943	6,217	9,198	10,978	10,005	2003年4月～
9	MagazinePlus (和雑誌記事索引)	7,178	3,519	4,329	4,368	5,177	2003年～
10	Mpac (マーケティング情報サービス)	1(1-3月)	—	—	—	—	2007年10月～2020年3月
11	Super 法令 web*	84	114	196	179	140	2011年7月～
12	朝日新聞クロスサーチ*	32,975	31,554	20,819	19,598	27,162	2006年10月～
13	医中誌 Web	3,044	2,528	990	740	771	2014年4月～
14	大宅壮一文庫雑誌記事索引 (Web OYA-bunko)*	34(1-3月)	—	—	—	236(4-12月)	2005年11月～2020年3月 2024年4月～
15	化学書資料館	817(1-3月)	—	—	—	32,902(4-12月)	2007年4月～2020年3月 2024年4月～
16	官報情報データベース▲	4	6	2(1-3月)	—	7(4-12月)	2006年4月～2022年3月 2024年4月～
17	教保文庫スカラー	92(1-3月)	206(4-12月)	827	1,043	308	2014年4月～2020年3月 2021年4月～
18	公的判例集データベース*	175	275	382	399	393	2011年7月～
19	ざっさくプラス 20世紀メディア情報データベース連携プラン	—	—	—	—	2,727(4-12月)	2024年4月～
20	産経新聞データベース*	3,730	3,558	3,350	2,666	1,942	2014年4月～
21	新・判例解説 Watch*	139	280	304	293	380	2011年7月～
22	ジャパンナレッジ Lib (百科事典データベース) △	82,886	122,387	196,256	242,117	208,624	2005年4月～
23	ジャパンナレッジ Lib (世界大百科事典) △	—	—	—	—	3,548(4-12月)	2024年4月～
24	ジャパンナレッジ Lib (大漢和辞典) △	—	—	—	—	4,958(4-12月)	2024年4月～
25	東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー△	51,907(4-12月)	59,694	47,114	41,345	37,953	2020年4月～
26	日経テレコン (日本経済新聞ビジネス情報データベース) ☆	1,778,746	1,549,821	1,518,273	1,397,288	1,319,505	2003年10月～
27	日経 NEEDS-Financial QUEST (地域統計) ★	1	5,900	2	25	27,485	2002年7月～
28	日本文学 Web 図書館 (和歌・連歌・俳諧ライブラリー)*	27(1-3月)	—	—	—	1,154(4-12月)	2013年4月～2020年3月 2024年4月～
29	日本文学 Web 図書館 (平安文学ライブラリー、辞典ライブラリー)*	—	—	—	—	499(4-12月)	2024年4月～
30	法律文献総合 INDEX*	137	264	245	212	8	2011年7月～
31	毎索 (毎日新聞記事索引)	7,429	7,169	7,988	8,054	9,027	2005年4月～
32	山一証券株式会社第一期・オンライン版△	—	17	9(1-3月)	—	—	2014年4月～2022年3月
33	ヨミダス (読売新聞記事索引)	25,489	27,509	33,728	31,347	24,334	2005年4月～
34	beck-online : プレミアム版 (ドイツ法情報データベース)	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2007年4月～
35	Bibliography of British and Irish History*	0(1-3月)	—	—	—	—	2011年5月～2020年3月
36	Business Source Complete-EBSCOhost (ビジネス関連データベース)	2,444	5,610	2,141	5,394	5,669	2012年2月～

	種 別	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	契約期間
37	Chatham House Online Archive, Part 1: 1920-1979 (英国王立国際問題研究所)	6(1-3月)	—	—	70(2-12月)	3	2014年4月～2020年3月、 2023年2月～
38	Le Doctrinal △	1,015(4-12月)	—	45(7-12月)	344	582	2020年4月～
39	eBook Collection-EBSCOhost	1,873	4,012	1,504	4,492	4,429	2011年7月～
40	EconLit with Full Text-EBSCOhost	1,893	4,130	1,234	4,516	4,660	2012年2月～
41	The Economist Historical Archive 1843-2015	14(1-3月)	—	—	29(2-12月)	64	2012年7月～2020年3月、 2023年2月～
42	Factiva.com	11,901	5,847	—	718(5-12月)	3,151	2013年4月～
43	Hein Online	1,177	540	511	408	440	2012年～
44	ICPSR★	1,045	1,064	1,042	212	2,736	2005年4月～
45	The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003	5(1-3月)	—	—	22(2-12月)	21	2013年4月～2020年3月、 2023年2月～
46	Integrum★	0(1-3月)	—	—	—	—	2013 年 4 月 ～ 2020年3月
47	International Medieval Bibliography Online *	0(1-3月)	—	—	—	—	2011年5月～2020年3月
48	Journal Citation Reports	330	471	574	355	559(1-11月)	2010年4月～
49	JURIS Online (ドイツ法律情報データベース) ★	2,030	1,924	1,740	1,824	4,100	2004年10月～
50	Kuselit Online	計数されていない	—	—	—	—	2014年4月～2020年3月
51	LearnTechLib	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2015年～
52	Lexis+ (法情報索引)	1,399	2,925	1,621	1,734	1,052	2003年～
53	Lexis360 Intelligence	276(4-12月)	301	399	241	300	2020年4月～
54	MathSciNet (数学文献データベース)	—	—	26,084(4-12月)	22,601	4,425	2006年11月～2019年12月 2022年4月～
55	MLA International Bibliography *	3,423(1-3月)	—	—	—	—	2011年4月～2020年3月
56	National Geographic Virtual Library △	153(4-12月)	283	193	641	198	2020年4月～
57	Nineteenth Century U.S. Newspapers	5(1-3月)	—	—	19(2-12月)	120	2014年4月～2020年3月、 2023年2月～
58	Oxford English Dictionary	108(1-3月)	—	—	—	—	2014年4月～2020年3月
59	ProQuest Basic Search (専門分野型データベース)	3,775	4,115	2,755	2,538	2,566	2003年11月～
60	ProQuest Congressional	53(1-3月)	—	—	—	—	2003年～2020年3月
61	ProQuest Historical Newspapers: Chinese Newspapers Collection, 1832-1953	2,877(4-12月)	3,660	2,467	2,162	2,325	2020年4月～
62	PsycARTICLES-EBSCOhost (心理学文献データベース)	2,038	2,037	2,547	1,890	1,371	2014年4月～
63	PsycINFO-EBSCOhost (心理学雑誌記事・文献索引)	378(1-3月)	1,841(4-12月)	2,528	1,822	1,412	2006年4月～2020年3月 2021年4月～
64	Regional Business News-EBSCOhost (地域ビジネス関連データベース)	1,510	3,586	1,095	4,193	4,241	2012年2月～
65	CAS SciFinder Discovery Platform for Academics	11,908(1-3月)	63,522	72,184	68,529	70,501	2003年～
66	The Times Digital Archive 1785-2019	10(1-3月)	—	—	425(2-12月)	14,291	2012年7月～2020年3月、 2023年2月～
67	Translation Studies Bibliography *	—	—	—	—	144(4-12月)	2012年4月～2019年3月、 2024年4月～
68	Wall Street Journal	74(4-12月)	192	119	46	28	2020年4月～
69	Web of Science (引用・被引用論文索引)	45,653	52,814	53,492	51,076	47,010	2001年8月～
70	Westlaw Next (法情報索引)	4,082	5,923	2,829	2,623	6,756	2003年～
71	経業デジタルライブラリ「週刊ダイヤモンド」デジタルアーカイブズ	0	3	49	21	23	2017年8月～
72	Business Archives Online (企業史料統合データベース)〈J-DAC〉	86	65	18	65	46	2013年4月～
73	全国商工会議所関係資料〈J-DAC〉	92	9	164	11	0	2018年12月～
74	通産政策史資料〈J-DAC〉	12	50	8	1	99	2015年1月～
75	都市問題と地方自治〈J-DAC〉	9	17	2	0	0	2019年12月～
76	スポーツ産業史データベース〈J-DAC〉	0	1	3	3	0	2018年10月～
77	地方自治関係資料〈J-DAC〉	0	16	0	0	0	2017年11月～
78	近現代史料データベース〈J-DAC〉	70	86	133	162	421	2016年12月～
79	近代文学作家自筆資料集〈J-DAC〉	16(10-12月)	3	3	7	9	2020年10月～
80	社会文化史データベース〈J-DAC〉	—	—	—	20(5-12月)	8	2023年5月～
81	鎌倉遺文Ⅰ〈JKBooks〉△	193	974	882	338	145	2019年8月～
82	鎌倉遺文Ⅱ〈JKBooks〉△	350(1-3月)	425	451	420	255	2020年1月～
83	群書類従(正・続・続々)〈JKBooks〉△	1,507	848	469	10,197	5,749	2018年4月～
84	国史体系 新訂増補〈JKBooks〉△	—	—	—	763(11-12月)	3,992	2023年11月～
85	史料纂集 第1期 古記録編 平安・鎌倉・南北朝〈JKBooks〉△	—	—	—	2,430(2-12月)	991	2023年2月～
86	史料纂集 第2期 古記録編 室町・戦国1～3〈JKBooks〉△	—	—	—	—	578	2024年1月～

	種 別	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	契約期間
87	天皇皇族実録 第1期 Vol.1 神武天皇～Vol.49 安徳天皇〈JKBooks〉△	—	—	—	1,229(2-12月)	328	2023年2月～
88	天皇皇族実録 第2期 後鳥羽天皇～後奈良天皇〈JKBooks〉△	—	—	—	—	395	2024年1月～
89	天皇皇族実録 第3期 Vol.99 正親町天皇～ Vol.135 補巻 孝明天皇 〈JKBooks〉△	—	—	—	—	23(11-12月)	2024年11月～
90	東洋経済新報/週刊東洋経済 デジタルアーカイブス 第1期 [大正期]〈JKBooks〉△	15	4	7	97	35	2018年4月～
91	平安遺文〈JKBooks〉△	—	—	—	5(11-12月)	269	2023年11月～
92	18th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	0	0	2	0	0	2013年4月～
93	19th & 20th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	13	96	13	54	136	2009年～
94	Archives Unbound D.W. Griffith's Birth of a Nation	—	—	—	—	12	2024年1月～
95	Archives Unbound FBI File: Hollywood and J. Edgar Hoover Investigations of Actors and Directors	—	—	—	—	12	2024年1月～
96	Archives Unbound Hollywood, Censorship, and the Motion Picture Production Code, 1927-1968	—	—	—	—	6(12月)	2024年12月～
97	Cold War Voices of Confrontation and Conciliation	52	65	13	81	10	2018年11月～
98	The Economist Historical Archive, 1843-2015 Supplement 2016-2020	—	—	—	—	85	2024年1月～
99	Eighteenth Century Collections Online (ECCO1&2) ★	455	4	23	14	15	2013年4月～
100	Encyclopaedia of Islam Online (2ndEdition and 3rdEdition)	—	—	—	—	82(11-12月)	2024年11月～
101	Financial Times Historical Archive 1888-2016	—	—	34(2-12月)	138	35	2012年4月～2015年3月 2022年2月～
102	The Japan Times Archives	400	282	248	146	297	2015年4月～
103	Japan-U.S. Economic Relations Group Records, 1979-1981	54	65	14	83	12	2018年7月～
104	Journal of Fluid Mechanics Digital Archive 1956-1996 ★	139(2-12月)	59	89	64	72	2020年2月～
105	Archives of Sexuality and Gender : LGBTQ History and Culture Since 1940, Part I	—	—	9(2-12月)	154	3	2022年2月～
106	LGBTQ History and Culture Since 1940, Part II	—	—	—	154	3	2023年1月～
107	The Making of the Modern World, PART I & II (MOMW I & II) ★	12	24	13	10	12	2013年4月～
108	The Making of the Modern World, Part III (MOMW III) ★	40(1-3月)	46	9	103	13(1-5月) 3(6-12月)	2020年1月～
109	Criminal Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	12(8-12月)	2024年8月～
110	Environmental Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	68	2024年1月～
111	Insurance Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	28	2024年1月～
112	Private International Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	18(8-12月)	2024年8月～
113	Social Security (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	39	2024年1月～
114	State Papers Online Colonial/Asia, Part I: Far East, Hong Kong, and Wei-Hai-Wei	—	—	—	62	1	2023年1月～
115	Transport Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	12(8-12月)	2024年8月～

注1 統計算出方法について

- (1) 各統計は、1月～12月までの検索回数の合計である。統計値については、データベース提供機関が独自の基準で計数した値をそのまま利用しているため、それぞれの統計値が必ずしも同じ算出方法であるとは限らない。
- (2) *はログイン回数、☆は結果表示件数、★はダウンロード件数、△はページビュー数、▲は利用申込者数を示す。
- (3) 表中の「—」は、当該年度が利用（統計計上）開始前または利用提供終了（提供方法変更）後であること、または別の統計に含まれていること、取得不可のものを示す。
- (4) 2020年の統計値について、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各出版社等の支援サービスにより、同時アクセス数が契約内容よりも増えたことで、大幅に検索回数等が増えているものがある。
- (5) 2021年、2022年の統計値について、新型コロナウイルス感染症拡大に対する授業支援として、オンライン授業において必要な新聞データベース等の同時アクセス数が追加されたため、大幅に検索回数等が増えているものがある。該当タイトルについては、以下のとおり。日経テレコン（20→50）、朝日新聞クロスサーチ（4→5）、ヨミダス歴史館（2→5）、毎索（2→5）、産経新聞データベース（2→4）、ジャパンナレッジ Lib（4→無制限）。

注2 各データベースに係る注記

- 1 図書館、経済政治研究所及び法学研究所で契約している5分野すべての利用状況。
- 4 図書館及び会計研究科での利用状況。
- 12 2022年9月より、聞蔵Ⅱから朝日新聞クロスサーチへ名称変更されたことに伴い、新旧バージョンの合算統計値を計数している。
- 14-16・28・67 2024年4月より図書館での契約復活のため、新たに統計対象とする。
- 20 2018年4月より、オンライン記事検索サービスの名称が、The Sankei Archives から産経新聞データベースへ変更された。
- 22 2020年度よりプラットフォーム「ジャパンナレッジ Lib」の同時アクセス数が新たに2アクセス追加され同時アクセス数が合計4に、2021年度より同時アクセス数無制限となっている。また、2023年1月よりプラットフォームを統合したため、81-85・87・90-91の買い切り資料を除いた数値を統計値としている。2024年4月より23・24が新規契約となり、この2タイトルと81-91の買い切り資料を除いた数値を統計値としている。
- 23-24・29 2024年4月より新規契約のため、新たに統計対象とする。
- 32 2020年統計値は、出版社のデータ取得方法変更に伴う不具合発生により取得不可となった。2021年度は統計値は、システム改修に伴いログイン数を計数している。
- 33 2024年4月より、ヨミダス歴史館からヨミダスへ名称変更した。
- 37 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 38 2021年度に統計データ提供元が変更となったが、旧提供元でデータのバックアップがとれておらず、2021年度は利用統計の提供が不可となった。2022年より Doctrinal Plus から Le Doctrinal へ名称変更され、2022年1月～6月の利用統計値は、提供元の都合により取得不可となった。また、取得方法が変更となり、検索回数からページビューへ変更することとした。2023年より提供元が変更となり、統計値を文書閲覧数から検索実行回数へ変更することとした。
- 40 2022年統計値は、出版社の統計システムの不具合発生により取得不可となった。2023年1～4月の統計値は、出版社の統計システムの不具合のため取得不可となった。
- 42 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 43 World Constitutions Illustrated、U.S.Federal Agency Documents, Decisions, and Appeals、History of International Law、HeinOnline ABAを含む。

- 45 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 49 統計値には、文書取出件数（文書＜全文・要約・抄録等＞の閲覧件数）を計上している。
- 52 2020年10月よりLexis AdvanceからLexisへ、2024年4月よりLexisからLexis+に名称変更した。
- 53 2023年1月よりLexis360からLexis360 Intelligenceへ名称変更した。
- 55 2019年4月以降は出版社が変更となり、個別にログイン数を計数している。
- 56 プラットフォーム変更に伴い2020年4月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 57 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 59 ERIC、LISA（2020年3月まで）、LLBA（2020年3月まで）、Worldwide Political Science Abstracts（2020年3月まで）、Sociological Abstracts、PTSDpubs、Social Services Abstracts、Entertainment Industry Magazine Archive（2020年3月まで）が含まれる。また、2014年4月よりProQuest Dissertations & Theses Global（2020年3月まで、2023年12月）、ProQuest Historical Annual Reportsが含まれる。
- 65 2020年4月から新しいバージョンのSciFinder-nが利用できることとなったが、出版元が利用統計を提供しない方針だったため、2020年4-12月は統計取得不可となった。したがって、従来のSciFinderのみの統計を計数している。なお、2021年1月より検索数が提供されることになった。ただし、バージョンアップに伴い過去の数値と単純比較はできない（版元情報）。2024年4月よりCAS SciFinder[®]からCAS SciFinder Discovery Platform for Academicsに名称変更した。
- 66 2022年度買い切り資料として復活。契約範囲を1785-1985から1785-2019に変更した。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 68 版元側の都合により検索回数が取得不可となったため、2023年より取得方法を検索回数からログイン回数へ変更することとした。
- 69 2021年7月7日のインターフェース変更に伴い、新旧バージョンの合算統計値を計数している。
- 81・82 ジャパンナレッジ Libのプラットフォームを使用しているが、ページビュー数であれば個別の統計値が取得できるため、2019年より計数方法を変更し個別に掲載する。
- 83・90 2023年4月よりプラットフォームを統合したため、2023年1月-3月の数値は、各プラットフォームの合算統計値を計数している。
- 94-96・98 2024年度に買い切り資料として購入したタイトルについて、新たに統計対象とする。
- 100 2024年度に買い切り資料として購入したタイトルについて、新たに統計対象とする。2nd Edition Glossary and Index of Terms, Historical Atlas of Islamが含まれる。
- 102 2019年以降の統計は、「幕末期」を含む。
- 108 2024年6月からプラットフォーム変更に伴い、取得方法を検索回数からダウンロード回数へ変更することとした。
- 109-113・115 2024年度に加除式DBとして購入したタイトルについて、新たに統計対象とする。

k 過去5年間のリポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
登録件数（累計）	18,900	22,173	24,025	24,782	26,057
アクセス数	370,956	584,620	506,628	899,374	1,370,971
ダウンロード数	869,074	1,370,391	1,550,695	1,748,887	2,466,654

- 注1 2023年度にリポジトリのシステムがリニューアルされたことに伴い、過去の数値と単純比較はできない。
- 注2 登録件数（累計）は、2023年度より学術機関リポジトリデータベース（IRDB）のデータを使用している。
- 注3 アクセス数は学術リポジトリサイトの書誌情報閲覧数である。
- 注4 ダウンロード数には外部サイトからの直接アクセスを含む。

l 過去5年間の資料電子化の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
内 容	源氏物語他 190点	賀茂翁家集他 118点	酒神餅神鬼殺心角樽他 180点	玉くしけ他 154点	広輿考他 1点
画像数	19,535	10,182	15,280	13,863	3,167

m キャンパス間相互利用件数（予約取寄せ）

		提供冊数（受付館）				
		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合 計
受入冊数（依頼館）	総合図書館		1,085	796	1,289	3,170
	高槻キャンパス図書館	821		56	87	964
	ミューズ大学図書館	1,391	206		133	1,730
	堺キャンパス図書館	742	61	57		860
	合 計	2,954	1,352	909	1,509	6,724

n 利用者用パソコン設置台数

総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	合 計
64	9	9	12	94

(3) 蔵書に関する統計

① 収書状況

a 図書資料の所蔵数（2024 年度末現在）

区 分	種 別 図書の冊数（冊）		定期刊行物の種類数		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (点数)	電子書籍 (点数)
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			
総合図書館	2,244,544	234,218	15,240 (1,496)	8,840 (535)	125,111	19,995	12,905
高槻キャンパス図書館	64,111	64,111	274 (124)	246 (37)	530	—	—
ミューズ大学図書館	53,622	53,622	413 (140)	73 (10)	274	—	—
堺キャンパス図書館	57,901	57,901	194 (113)	46 (21)	295	—	—
法学部資料室	33,706	33,706	1,031 (329)	50 (10)	88	1	0
経商資料室	34,099	34,099	623 (325)	228 (20)	486	1	0
社会学部資料室	31,038	31,038	1,262 (243)	48 (7)	474	0	0
法科大学院ロー・ライブラリー	11,864	11,864	68 (68)	0 (0)	0	0	0
会計専門職大学院図書資料室	1,192	1,192	7 (7)	0 (0)	0	0	0
東西学術研究所	21,223	0	325 (26)	123 (7)	121	0	1
経済・政治研究所	20,185	0	51 (48)	1 (1)	0	2	0
法学研究所	15,995	0	41 (41)	0 (0)	0	2	0
人権問題研究室	25,703	22,367	59 (59)	0 (0)	180	0	0
計	2,615,183	543,118	19,588 (3,019)	9,655 (648)	127,559	20,001	12,906

注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。

注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。下段（ ）は内数で、継続して受け入れている種類数。

注4 総合図書館と各キャンパス図書館の電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。

b 過去5年間の図書の受入数

(単位:冊)

館名 \ 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
総合図書館	19,004	19,828	18,007	19,173	18,279
高槻キャンパス図書館	1,923	1,442	1,452	1,375	1,965
ミューズ大学図書館	1,552	1,351	1,303	1,269	1,816
堺キャンパス図書館	2,167	1,631	1,598	1,727	2,017
計	24,646	24,252	22,360	23,544	24,077

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

c 図書資料異動状況

(単位:点)

区分 \ 種別		和 書	洋 書	マイクロ資料		その他	合 計
				フィルム	フィッシュ		
取得内訳	購 入	18,198	1,929	0	0	136	20,263
	受 贈	681	22	0	0	0	703
	その他	1,840	1,143	72	0	56	3,111
	合 計	20,719	3,094	72	0	192	24,077
除籍抹消		7,550	194	0	0	0	7,744
増 減 計		13,169	2,900	72	0	192	16,333
期末在高		1,457,731	832,703	96,970	24,168	8,606	2,420,178

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「種別」の「その他」はAV資料、CD-ROM、DVD-ROM等の資料を含む。

d 雑誌・新聞受入種類数

区分 \ 種別		雑誌・新聞		
		和	洋	合 計
取得内訳	購 入	1,208	562	1,770
	受 贈	616	19	635
	その他	49	22	71
	合 計	1,873	603	2,476

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

② 分類別所蔵図書冊数(日本十進分類法による)

分類	内 訳	和	洋	合 計
0	総記	16,781	12,290	29,071
10	図書館, 図書館情報学	7,270	4,693	11,963
20	図書, 書誌学	18,328	14,692	33,020
30	百科事典, 用語索引	3,579	3,981	7,560
40	一般論文集, 一般講演集, 雑著	18,924	1,596	20,520
50	逐次刊行物, 一般年鑑	24,218	8,172	32,390
60	団体, 博物館	1,445	487	1,932
70	ジャーナリズム, 新聞	18,323	7,618	25,941
80	叢書, 全集, 選集	57,674	18,016	75,690
90	貴重書, 郷土資料, その他の特別コレクション	1,257	2,339	3,596
	総記・計	167,799	73,884	241,683
100	哲学	4,360	5,650	10,010
110	哲学各論	2,732	4,004	6,736
120	東洋思想	20,132	778	20,910
130	西洋哲学	8,422	20,568	28,990
140	心理学	14,443	16,050	30,493
150	倫理学, 道徳	4,231	1,531	5,762
160	宗教	6,327	4,455	10,782
170	神道	2,712	57	2,769
180	仏教	16,842	1,926	18,768
190	キリスト教, ユダヤ教	6,712	9,110	15,822
	哲学・計	86,913	64,129	151,042
200	歴史, 世界史, 文化史	7,242	10,852	18,094
210	日本史	55,350	1,234	56,584
220	アジア史, 東洋史	36,364	5,354	41,718
230	ヨーロッパ史, 西洋史	5,790	17,994	23,784
240	アフリカ史	334	1,613	1,947
250	北アメリカ史	837	2,833	3,670
260	南アメリカ史	97	97	194
270	オセアニア史, 両極地方史	104	168	272
280	伝記	23,578	7,180	30,758
290	地理, 地誌, 紀行	31,140	6,790	37,930
	歴史・計	160,836	54,115	214,951
300	社会科学	14,275	8,295	22,570
310	政治	44,791	49,840	94,631
320	法律	65,466	91,918	157,384
330	経済	92,637	96,191	188,828
340	財政	8,294	7,025	15,319
350	統計	9,531	5,905	15,436
360	社会	67,576	53,847	121,423
370	教育	52,099	14,066	66,165
380	風俗習慣, 民俗学, 民族学	18,686	4,561	23,247
390	国防, 軍事	4,320	1,505	5,825
	社会科学・計	377,675	333,153	710,828
400	自然科学	8,119	8,947	17,066
410	数学	10,864	15,169	26,033
420	物理学	6,147	15,334	21,481
430	化学	6,357	13,146	19,503
440	天文学, 宇宙科学	2,490	1,035	3,525
450	地球科学, 地学	7,665	4,310	11,975
460	生物科学, 一般生物学	6,692	8,682	15,374
470	植物学	1,321	235	1,556
480	動物学	2,577	494	3,071
490	医学, 薬学	26,944	11,016	37,960
	自然科学・計	79,176	78,368	157,544
500	技術, 工学	16,350	22,183	38,533
510	建設工学, 土木工学	19,913	12,532	32,445
520	建築学	16,327	6,315	22,642
530	機械工学, 原子力工学	10,724	9,007	19,731
540	電気工学	24,038	16,260	40,298
550	海洋工学, 船舶工学, 兵器, 軍事工学	1,562	383	1,945
560	金属工学, 鉱山工学	5,965	6,334	12,299
570	化学工業	7,232	7,017	14,249
580	製造工業	4,786	1,509	6,295
590	家政学, 生活科学	1,949	424	2,373
	技術・計	108,846	81,964	190,810
600	産業	5,608	418	6,026
610	農業	12,957	4,401	17,358

分類	内 訳	和	洋	合 計
620	園芸, 造園	1,295	224	1,519
630	蚕糸業	240	1	241
640	畜産業, 獣医学	1,044	151	1,195
650	林業, 狩猟	1,524	246	1,770
660	水産業	1,841	285	2,126
670	商業	17,664	14,800	32,464
680	運輸, 交通, 観光事業	10,221	7,299	17,520
690	通信事業	3,552	2,404	5,956
	産業・計	55,946	30,229	86,175
700	芸術, 美術	14,904	6,739	21,643
710	彫刻, オブジェ	1,061	302	1,363
720	絵画, 書, 書道	18,611	4,058	22,669
730	版画, 印章, 篆刻, 印譜	944	373	1,317
740	写真, 印刷	2,116	523	2,639
750	工芸	4,426	1,399	5,825
760	音楽, 舞踏, バレエ	7,080	1,742	8,822
770	演劇, 映画, 大衆芸能	16,502	4,057	20,559
780	スポーツ, 体育	10,799	3,216	14,015
790	諸芸, 娯楽	2,005	241	2,246
	芸術・計	78,448	22,650	101,098
800	言語	5,348	16,521	21,869
810	日本語	11,654	311	11,965
820	中国語, その他の東洋諸言語	11,253	1,173	12,426
830	英語	7,223	11,627	18,850
840	ドイツ語, その他のゲルマン諸語	1,082	4,517	5,599
850	フランス語, プロバンス語	1,081	3,164	4,245
860	スペイン語, ポルトガル語	493	577	1,070
870	イタリア語, その他のロマンス諸語	140	409	549
880	ロシア語, その他のスラブ諸語	404	1,354	1,758
890	その他の諸言語	444	987	1,431
	言語・計	39,122	40,640	79,762
900	文学	12,938	11,131	24,069
910	日本文学	103,536	1,652	105,188
920	中国文学, その他の東洋文学	32,277	821	33,098
930	英米文学	8,876	26,232	35,108
940	ドイツ文学, その他のゲルマン文学	3,540	13,600	17,140
950	フランス文学, プロバンス文学	4,761	12,728	17,489
960	スペイン文学, ポルトガル文学	1,620	10,932	12,552
970	イタリア文学, その他のロマンス文学	526	574	1,100
980	ロシア文学, その他のスラブ文学	1,925	3,208	5,133
990	その他の諸言語文学	549	1,549	2,098
	文学・計	170,548	82,427	252,975
	合 計	1,325,309	861,559	2,186,868
	そ の 他			233,310
	図書館蔵書数			2,420,178

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 2014年度にミューズ大学図書館および堺キャンパス図書館から移管を受けた資料を含む。

注3 「その他」は、個人文庫などの未分類図書を表す。

注4 分類名称は新訂10版による。

③ 分類別所蔵雑誌種類数(日本十進分類法による)

分類	内 訳	和	洋	合 計
0	総 記	4,801	980	5,781
100	哲 学	493	527	1,020
200	歴 史	857	339	1,196
300	社 会 学	4,041	3,550	7,591
400	自 然 学	750	935	1,685
500	技 術	1,728	1,626	3,354
600	産 業	684	361	1,045
700	芸 術	840	170	1,010
800	言 語	264	267	531
900	文 学	1,653	449	2,102
	そ の 他	10	1	11
	合計	16,121	9,205	25,326

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 2014年度にミューズ大学図書館および堺キャンパス図書館から移管を受けた資料を含む。

注3 重複するタイトルは、カウントしていない。

④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合

a 分類別冊数

年度		2024 年度			
分類	館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館
000 総記		224,322	12,601	3,196	1,564
100 哲学		139,109	3,655	2,681	5,597
200 歴史		206,200	2,663	2,739	3,349
300 社会科学		651,793	19,744	18,867	20,424
400 自然科学		136,071	5,597	8,752	7,124
500 技術		175,704	5,898	8,111	1,097
600 産業		79,986	2,673	2,719	797
700 芸術		88,086	2,911	1,130	8,971
800 言語		69,558	5,392	2,466	2,346
900 文学		240,405	2,977	2,961	6,632
その他		233,310	0	0	0
合 計		2,244,544	64,111	53,622	57,901

注1 総合図書館の蔵書のうち「その他」は、貴重書や特別コレクション・書状など十進分類法になじまないもの。

b 分類別冊数の全体に占める割合

年度		2024 年度			
分類	館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館
000 総記		10%	20%	6%	3%
100 哲学		6%	6%	5%	10%
200 歴史		9%	4%	5%	6%
300 社会科学		29%	30%	35%	36%
400 自然科学		6%	9%	16%	12%
500 技術		8%	9%	15%	2%
600 産業		4%	4%	5%	1%
700 芸術		4%	5%	2%	15%
800 言語		3%	8%	5%	4%
900 文学		11%	5%	6%	11%
その他		10%	0%	0%	0%
合 計		100%	100%	100%	100%

⑤ 過去5年間の図書館資料費執行額

(単位：円)

		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
図 書	和	82,100,097	83,168,360	87,744,327	91,547,599	92,959,172
	洋	72,617,188	71,686,744	40,634,295	48,130,125	55,937,158
雑 誌	和	26,869,675	26,583,086	26,667,388	25,837,828	24,872,228
	洋	359,138,162	358,823,377	367,965,670	412,373,924	458,855,817
電子媒体		1,225,125	1,482,679	1,242,186	1,514,194	119,328
マイクロ資料	和	1,785,520	5,045,792	4,932,492	3,625,692	721,692
	洋	0	1,188,000	0	0	0
その他の資料		35,469,179	30,534,334	58,552,582	48,288,275	45,048,066
外部データベース		76,512,849	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395
合 計		655,717,795	655,898,339	661,962,191	708,059,336	790,206,856
製 本 費		5,738,810	7,983,668	6,011,665	5,905,196	6,992,590

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「図書」には電子書籍を含む。

注3 「雑誌」には電子ジャーナルを含む。

注4 「電子媒体」にはCD-ROM、DVD-ROM 等を含む。

注5 「その他の資料」には、追録、AV 資料を含む。

⑥ 過去5年間の電子資料に係る経費執行額

(単位：円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電子ジャーナル経費執行額	286,730,735	288,089,970	297,815,838	323,024,508	372,617,090
データベース経費執行額	76,512,849	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395
電子書籍経費執行額	28,131,304	21,925,571	43,099,135	20,785,626	25,506,015
合 計	391,374,888	387,401,508	415,138,224	420,551,833	509,816,500

注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。

(4) その他関連統計等

a 過去5年間の図書館職員

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
専任職員 〔人数〕	19	20	22	20	21
定時職員 〔総勤務時間〕	11,750	12,700	12,700	11,420	11,420
備 考	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、庶務担当業務に1名計4名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に5名、庶務担当業務に1名計6名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に5名、庶務担当業務に1名計6名の「派遣職員」を採用。

注1 定時職員は各人の勤務時間数が異なり、人数での比較が困難なため総予算時間数を記載した。

注2 4月1日現在の職員数を示す。

b 学生の閲覧席数（2025年4月1日現在）

館名	学生閲覧室 座席数 (A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合 $A/B \times 100$ (%)	その他の学習 室の座席数	備 考 【学生収容定員内訳】
総合図書館	2,052	23,514	8.73	—	(千里山キャンパス) ① 学 部 21,668名 ② 大学院 1,846名
高槻キャンパス図書館	235	2,214	10.61	—	(高槻キャンパス) ① 学 部 2,090名 ② 大学院 124名
ミューズ大学図書館	134	1,145	11.70	—	(高槻ミューズキャンパス) ① 学 部 1,100名 ② 大学院 45名
堺キャンパス図書館	272	1,352	20.12	—	(堺キャンパス) ① 学 部 1,320名 ② 大学院 32名
計	2,693	28,225	9.54	—	① 学 部 26,178名 ② 大学院 2,047名

c 10年間の展示会テーマと会期

年 度	展示のテーマと講演会の演題	会 期
2014 年度	図書館・博物館 連携企画展 関西大学名品万華鏡 ―館選イチョシ！― (於：関西大学博物館)	2014 年 4 月 1 日(火)～ 5 月 18 日(日)
	関西大学図書館 創設 100 周年 記念展示	関西大学図書館 100 年のあゆみ展
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「アナザー・ワールド」
	関西大学創立 130 周年記念展示	科学と芸術 ―著名院士学者書法展―
2015 年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「EU の Multilingualism」
2016 年度	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「ヨーロッパのカフェと文学」
2017 年度	実施せず	
2018 年度	記念展示	「石濱純太郎とその学問・人脈」展
2019 年度	特別展示	新元号「令和」の出典である『万葉集』
		新元号「令和」ゆかりの資料 ～『万葉集』『文選』『和漢朗詠集』を中心に～
	企画展示	平成 ―11,070days―
		企画展「わたしたちは世界を変えられる」
		SDGs パネル展「パートナーシップでつくる私たちの世界」
2020 年度	企画展示	企画展 「知りたい！」が未来をつくる「知りたい！」で世界をひろげる「科学道 100 冊」
		企画展 「わたしたちは世界を変えられる Sustainable Development Goals」
		企画展「向きあう、広がる、新学期」
2021 年度	企画展示	企画展「日日は好日 365 日、今日を生きよう」
		小展示「SDGs 教員推薦図書」
		すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示
		小展示「地球をゴミ箱にしてはいけない」
		企画展「考える。大阪・関西万博× SDGs」
		高槻キャンパス図書館 企画展 コミュニケーション力を磨こう！
		高槻キャンパス図書館 企画展 手軽にアクセス！電子書籍
		高槻キャンパス図書館 企画展 科学にまつわるエトセトラ
		高槻キャンパス図書館 企画展 心と体を整える
		ミューズ大学図書館 企画展 読書旅
		ミューズ大学図書館 企画展 水の災厄
		ミューズ大学図書館 企画展 テロの脅威
		ミューズ大学図書館 企画展 ライフスタイルの多様化 ―さまざまな住居・さまざまな家族―
		堺キャンパス図書館 企画展 原作を読んでみよう!! ―映画編―
		堺キャンパス図書館 企画展 Enjoy Training !!
		堺キャンパス図書館 企画展 ダイバーシティ & インクルージョン
		堺キャンパス図書館 企画展 ココロとカラダの不思議

年 度		展示のテーマと講演会の演題	会 期
2022 年度	企画展示	小展示「想像からはじめる SDGs」	2022 年 4 月 1 日(金)～2022 年 6 月 30 日(木) (於：総合図書館 2 階開架カウンター前)
		全館巡回企画展 スタッフがお薦めする「今のあなた」に読んでほしい本！	2022 年 4 月 5 日(火)～2023 年 1 月 31 日(火) (於：総合図書館 2 階開架・高槻キャンパス図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館)
		すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示	2022 年 9 月 27 日(火)～11 月 30 日(水) (於：総合図書館 2 階開架カウンター前)
		SDGs 教員推薦図書展示	2022 年 10 月 1 日(土)～2023 年 1 月 31 日(火) (於：総合図書館 2 階開架カウンター前)
		吹田市下水道部パネル展示「知ってますか？下水道」	2022 年 11 月 21 日(月)～12 月 5 日(月) (於：総合図書館 2 階開架カウンター前)
		小展示「SDGs めがね」	2022 年 12 月 12 日(月)～2023 年 1 月 31 日(火) (於：総合図書館 2 階開架カウンター前)
		高槻キャンパス図書館 企画展 百年史～関西大学と文学のあゆみ～	2022 年 4 月～6 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 聞く・話す・伝える	2022 年 7 月～9 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 メディアが繋ぐ情報	2023 年 1 月～3 月
		ミューズ大学図書館 企画展 世界へ！	2022 年 4 月～6 月
		ミューズ大学図書館 企画展 お金の世界	2022 年 7 月～9 月
		ミューズ大学図書館 企画展 これって依存症？	2022 年 10 月～12 月
		ミューズ大学図書館 企画展 貧困	2023 年 1 月～3 月
		堺キャンパス図書館 企画展 TO THE FUTURE ～これからの社会 これからの自分～	2022 年 4 月～6 月
		堺キャンパス図書館 企画展 バリアフリー＆ユニバーサル	2022 年 7 月～9 月
		堺キャンパス図書館 企画展 Let's play sports ―子どもたちといっしょに―	2022 年 10 月～12 月
		堺キャンパス図書館 企画展 身近な社会問題	2023 年 1 月～3 月
2023 年度	企画展示	改めまして、世界。	Season 1：2023 年 4 月 1 日(土)～2023 年 5 月 31 日(火) Season 2：2023 年 6 月 1 日(水)～2023 年 7 月 31 日(月)
	EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「EU 諸国と日本の小説」	2023 年 5 月 9 日(火)～5 月 24 日(水)
	企画展示	SDGs を知ろう！～未来を守る第一歩～	第 1 期：2023 年 9 月 21 日(木)～2023 年 11 月 30 日(木) 第 2 期：2023 年 12 月 1 日(金)～2024 年 1 月 31 日(火)
		すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示	2023 年 9 月 22 日(金)～12 月 2 日(土)
		高槻キャンパス図書館 企画展 なぜ？から始めよう	2023 年 4 月～6 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 EV×AI～モビリティ革命～	2023 年 7 月～9 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 SDGs ―教育―	2023 年 10 月～12 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 暗号と情報社会	2024 年 1 月～3 月
		ミューズ大学図書館 企画展 図書館からの新生活応援	2023 年 4 月～6 月
		ミューズ大学図書館 企画展 鉄道の歴史	2023 年 7 月～9 月
		ミューズ大学図書館 企画展 AI ― Artificial Intelligence ―	2023 年 10 月～12 月
		ミューズ大学図書館 企画展 大震災	2024 年 1 月～3 月
		堺キャンパス図書館 企画展 あなたの「はじめて」応援します！！	2023 年 4 月～6 月
		堺キャンパス図書館 企画展 こどもを守る―「こどもの居場所」をつくるために―	2023 年 7 月～9 月
		堺キャンパス図書館 企画展 カラダの中からきたえる！！	2023 年 10 月～12 月
		堺キャンパス図書館 企画展 働くということ	2024 年 1 月～3 月

年 度		展示のテーマと講演会の演題	会 期
2024 年度	企画展示	いろはにほん	2024 年 4 月 1 日(月)～7 月 31 日(水)・ 第 1 期：2024 年 4 月 1 日(月)～5 月 31 日(金) 第 2 期：2024 年 6 月 1 日(土)～7 月 31 日(水)
		SDGs × 多様性	2024 年 9 月 24 日(火)～2025 年 1 月 31 日(金) 第 1 期：2024 年 9 月 24 日(火)～11 月 30 日(土) 第 2 期：2024 年 12 月 1 日(日)～2025 年 1 月 31 日(金)
	特別展示	第 1 回【NHK × 関西大学総合図書館】2024 年度特別展示「理想の本箱」	2024 年 10 月 10 日(木)～11 月 8 日(金)
		第 2 回【NHK × 関西大学総合図書館】2024 年度特別展示「理想の本箱」	2024 年 11 月 18 日(月)～12 月 17 日(火)
		第 3 回【NHK × 関西大学総合図書館】2024 年度特別展示「理想の本箱」	2024 年 12 月 20 日(金)～2025 年 1 月 31 日(金)
		高槻キャンパス図書館 特別展 総情生はどんな本を読んできた！？	2024 年 4 月～2025 年 3 月
	企画展示	高槻キャンパス図書館 企画展 デジタル化とコミュニケーション	2024 年 4 月～6 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 情報技術の現在／過去	2024 年 7 月～9 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 ゲームは 1 日 1 時間	2024 年 10 月～12 月
		高槻キャンパス図書館 企画展 ソーシャルメディアの 30 年	2025 年 1 月～3 月
		ミューズ大学図書館 企画展 新学期です！何か始めてみませんか？—図書館で心機一転—	2024 年 4 月～6 月
		ミューズ大学図書館 企画展 Sex, Gender, Sexuality	2024 年 7 月～9 月
		ミューズ大学図書館 企画展 まちづくり	2024 年 10 月～12 月
		ミューズ大学図書館 企画展 ハローワールド	2025 年 1 月～3 月
		堺キャンパス図書館 企画展 なりたい自分になる！	2024 年 4 月～6 月
		堺キャンパス図書館 企画展 スポーツを支える技術	2024 年 7 月～9 月
		堺キャンパス図書館 企画展 ココロとカラダの休め方	2024 年 10 月～12 月
		堺キャンパス図書館 企画展 ケアについて考える	2025 年 1 月～3 月

注 1 総合図書館の展示会のうち場所を示していない場合は、総合図書館展示室において開催した。

d 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
久留米市美術館 神奈川県立近代美術館	芥川龍之介と美の世界 二人の先達—夏目漱石、菅虎雄	2023 年 10 月 28 日(土) ～2024 年 1 月 28 日(日) 久留米市美術館	蒹葭堂雜録, 5 巻	L22*914**144～148
		2024 年 2 月 10 日(土) ～4 月 7 日(日) 神奈川県立近代美術館 葉山	支那美術	M*722.05*S1
福井県立一乗谷朝倉遺跡博物館	北陸新幹線福井・敦賀開業記念特別展 「戦国大名朝倉氏 武威の煌めき」	I 期 2024 年 3 月 9 日(土) ～2024 年 4 月 14 日(日) II 期 2024 年 4 月 27 日(土) ～2024 年 5 月 26 日(日)	幻雲文集	CL21**3*2207-1～3
兵庫県立兵庫津ミュージアム	令和 6 年度春季企画展 「温泉と西国三十三所巡礼 —ひょうごを巡る旅—」	2024 年 4 月 27 日(土) ～2024 年 6 月 23 日(日)	諸國温泉功能鑑	L23**200*7255
			大坂ヨリ播磨名所讃州金比羅迄道中繪圖	L23**200*8008
			金毘羅参詣名所図会	*291.82*A1*1-2
市立伊丹ミュージアム	「虫」展	2024 年 8 月 9 日(金) ～9 月 29 日(日)	花蝶之図	N8C2*721.7*5
富山県立山博物館	説話にみる異界と立山	2024 年 10 月 5 日(土) ～11 月 4 日(月)	奇異雜談集	L23**900*790～795
			本朝櫻陰比事	C*913.62*I1*6-1～5
			善知安方忠義伝	*913.65*S5*1
			諸國因果物語	L24**23-54*1～3
			大念佛寺靈宝畧傳連理隻袖	L24**5-522*1～5

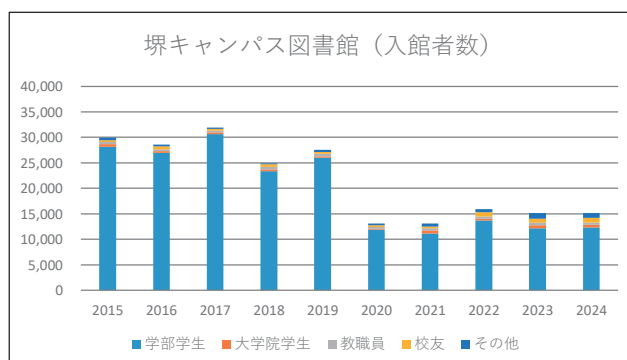
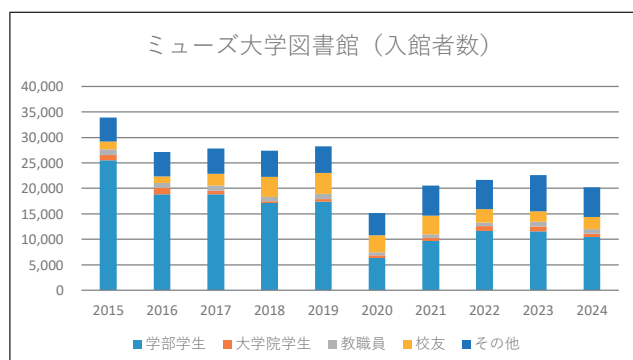
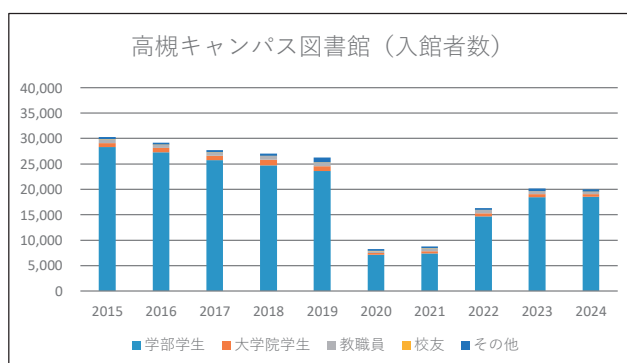
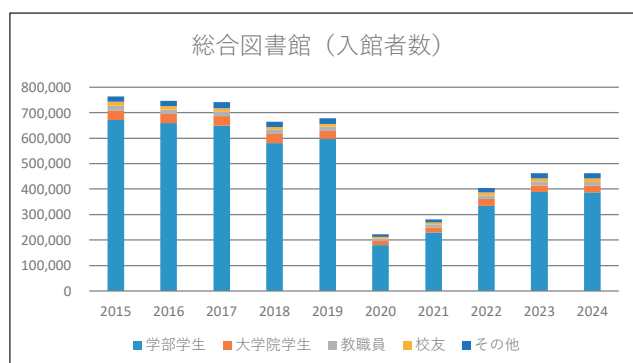
2 10年間の推移（2015年度～2024年度）

- (1) 館別・資格別入館者数
- (2) 館別・月別図書利用者数および利用冊数
- (3) Webによるサービスの利用状況
- (4) 図書館間相互利用件数
- (5) 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル
- (6) 図書資料の所蔵数（総合図書館）
- (7) 図書の受入数
- (8) 図書館資料費執行額の推移
- (9) 電子資料に係る経費の推移

(1) 館別・資格別入館者数

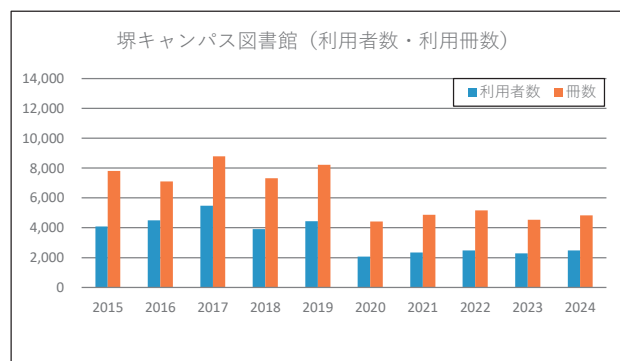
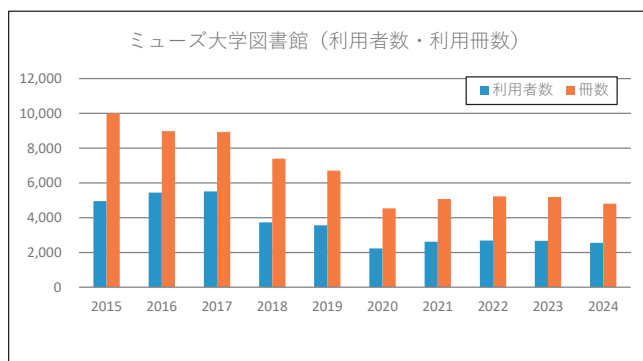
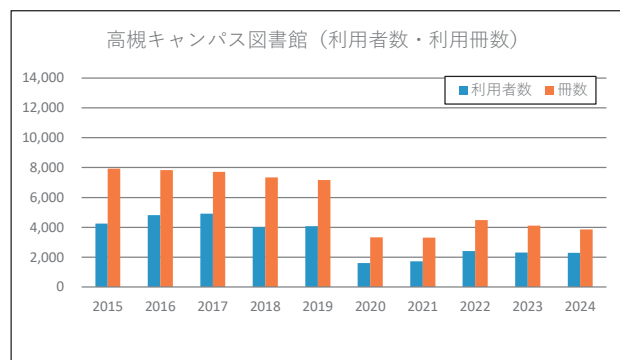
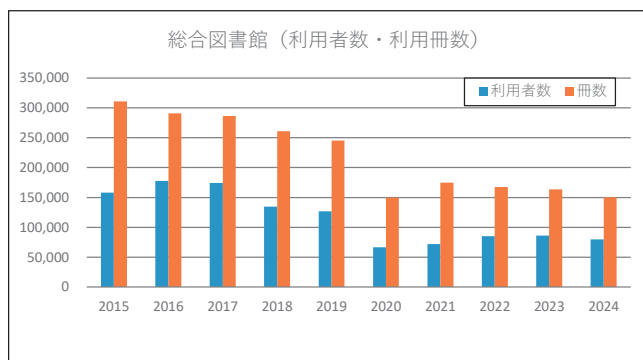
館名	資格	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
総合図書館	学部学生	671,620	659,114	648,342	580,591	597,282	180,649	229,068	334,394	388,526	387,086
	大学院学生	37,614	35,473	38,664	35,145	30,831	16,030	19,497	26,967	26,739	26,866
	教職員	18,055	16,920	17,770	17,281	17,259	9,387	11,784	14,519	14,340	13,953
	校友	15,981	14,729	12,824	11,432	11,134	6,818	9,052	11,429	12,471	13,781
	その他	20,258	21,024	23,191	19,490	21,474	9,448	12,117	16,872	19,626	20,225
	合計	763,528	747,260	740,791	663,939	677,980	222,332	281,518	404,181	461,702	461,911
高槻キャンパス図書館	学部学生	28,294	27,284	25,731	24,723	23,585	7,124	7,389	14,646	18,419	18,536
	大学院学生	801	892	843	1,137	921	322	430	665	661	548
	教職員	708	665	662	726	766	413	538	634	569	461
	校友	47	32	28	7	8	24	21	13	2	12
	その他	441	326	427	411	945	333	362	345	533	471
	合計	30,291	29,199	27,691	27,004	26,225	8,216	8,740	16,303	20,184	20,028
ミューズ大学図書館	学部学生	25,483	18,840	18,849	17,124	17,407	6,360	9,654	11,676	11,593	10,419
	大学院学生	1,074	1,253	685	305	470	529	590	888	948	677
	教職員	1,077	980	1,051	892	1,047	551	676	696	863	904
	校友	1,580	1,299	2,269	3,902	4,128	3,370	3,688	2,653	2,056	2,386
	その他	4,671	4,747	4,996	5,185	5,225	4,370	5,903	5,772	7,151	5,795
	合計	33,885	27,119	27,850	27,408	28,277	15,180	20,511	21,685	22,611	20,181
堺キャンパス図書館	学部学生	28,152	26,972	30,676	23,406	25,998	11,901	11,129	13,690	12,189	12,288
	大学院学生	545	329	266	341	319	203	581	382	568	524
	教職員	442	374	387	502	458	309	409	415	519	484
	校友	293	544	368	466	349	344	380	829	788	905
	その他	484	352	236	218	463	343	563	574	1,125	942
	合計	29,916	28,571	31,933	24,933	27,587	13,100	13,062	15,890	15,189	15,143
総合計		857,620	832,149	828,265	743,284	760,069	258,828	323,831	458,059	519,686	517,263

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。



(2) 館別・月別図書利用者数および利用冊数

館名	区分	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
総合図書館	利用者数	157,985	177,603	174,354	134,418	126,688	66,635	72,117	85,015	86,268	79,834
	冊数	310,737	291,079	286,279	260,808	245,209	149,643	174,984	167,281	163,602	150,055
高槻キャンパス図書館	利用者数	4,249	4,814	4,918	4,003	4,064	1,600	1,710	2,398	2,315	2,294
	冊数	7,924	7,825	7,720	7,346	7,161	3,319	3,300	4,488	4,105	3,855
ミューズ大学図書館	利用者数	4,957	5,444	5,502	3,719	3,558	2,228	2,610	2,692	2,668	2,547
	冊数	9,997	8,978	8,925	7,389	6,700	4,541	5,073	5,223	5,187	4,806
堺キャンパス図書館	利用者数	4,096	4,491	5,485	3,920	4,443	2,066	2,346	2,475	2,279	2,489
	冊数	7,806	7,112	8,793	7,315	8,228	4,428	4,867	5,160	4,537	4,829

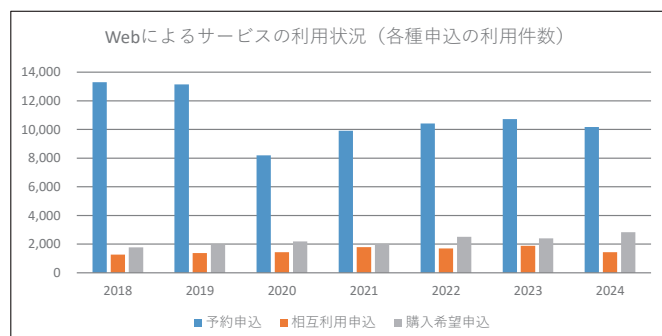
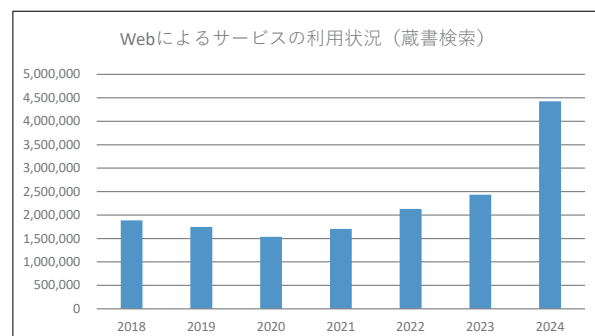


(3) Web によるサービスの利用状況

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
蔵書検索	1,886,933	1,746,581	1,534,671	1,704,047	2,132,404	2,432,932	4,425,774
予約申込	13,305	13,153	8,191	9,914	10,425	10,731	10,174
相互利用申込	1,276	1,379	1,436	1,785	1,699	1,877	1,443
購入希望申込	1,773	1,977	2,186	2,002	2,515	2,403	2,838

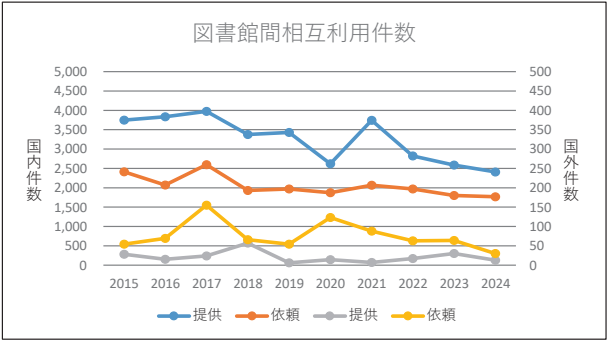
注1 統計取得は2018年度より開始。

注2 購入希望はWeb以外に書類提出によるものもある。



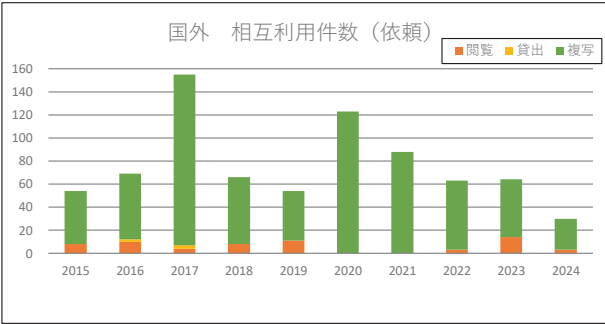
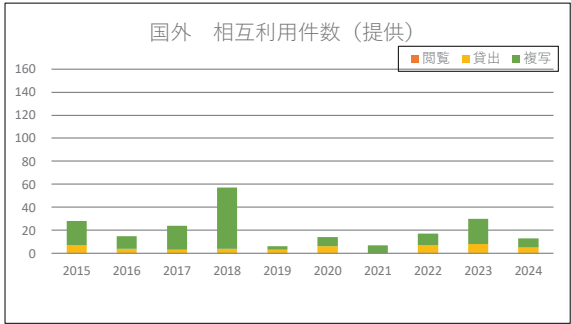
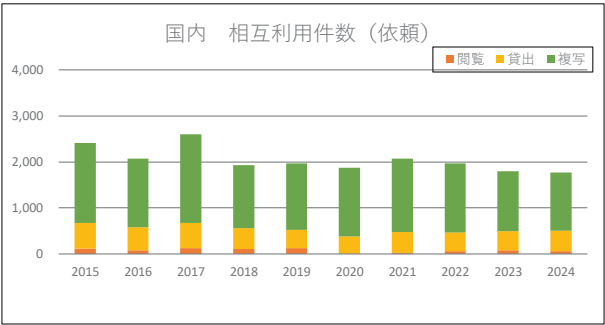
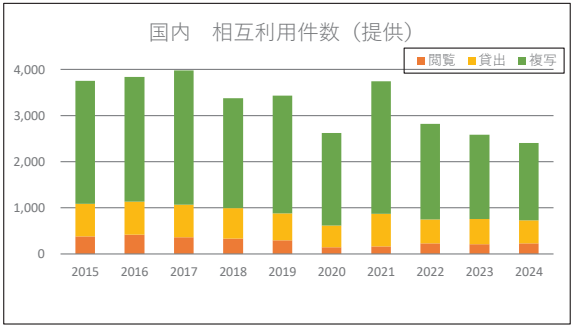
(4) 図書館間相互利用件数

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国内	提供	3,749	3,836	3,974	3,375	3,430	2,618	3,743	2,823	2,584	2,409
	依頼	2,414	2,070	2,596	1,932	1,970	1,872	2,067	1,970	1,798	1,768
国外	提供	28	15	24	57	6	14	7	17	30	13
	依頼	54	69	155	66	54	123	88	63	64	30



			2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
国内	提供	閲覧	380	421	360	333	298	148	165	226	215	230
		貸出	703	717	712	655	578	466	702	525	541	502
		複写	2,666	2,698	2,902	2,387	2,554	2,004	2,876	2,072	1,828	1,677
	依頼	閲覧	118	80	131	109	122	5	23	57	80	63
		貸出	558	500	544	454	401	381	450	411	413	437
		複写	1,738	1,490	1,921	1,369	1,447	1,486	1,594	1,502	1,305	1,268
国外	提供	閲覧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		貸出	7	4	3	4	3	6	0	7	8	5
		複写	21	11	21	53	3	8	7	10	22	8
	依頼	閲覧	8	10	4	8	11	0	0	3	14	3
		貸出	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0
		複写	46	57	148	58	43	123	88	60	50	27

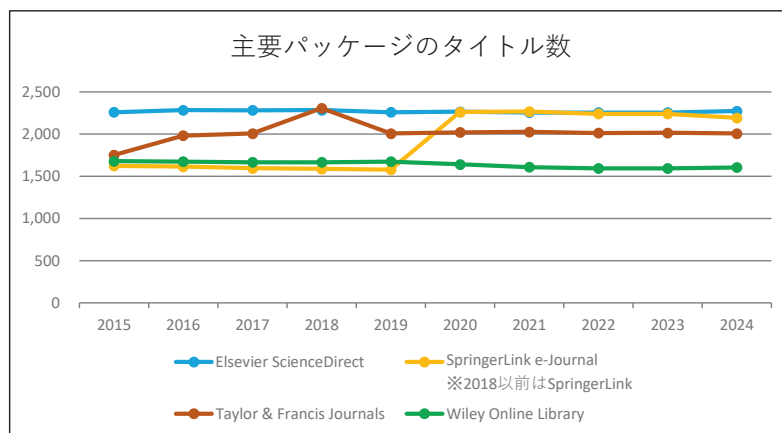
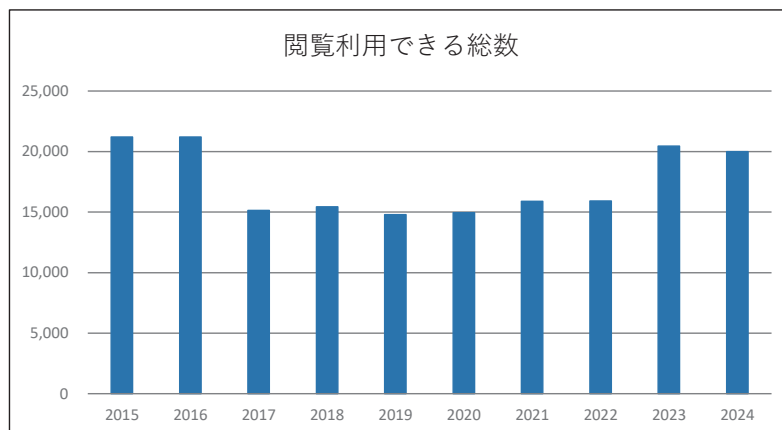
注1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。



(5) 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
閲覧利用できる総数		21,211	21,206	15,131	15,445	14,787	14,962	15,892	15,911	20,445	19,995
の主要 タイトル パッケージ 数	Elsevier ScienceDirect	2,259	2,285	2,282	2,284	2,259	2,265	2,255	2,256	2,256	2,273
	SpringerLink e-Journal ※2018以前はSpringerLink	1,624	1,615	1,595	1,587	1,579	2,261	2,268	2,240	2,241	2,192
	Taylor & Francis Journals	1,752	1,982	2,007	2,307	2,008	2,020	2,027	2,013	2,015	2,008
	Wiley Online Library	1,680	1,674	1,666	1,666	1,674	1,642	1,608	1,594	1,594	1,605

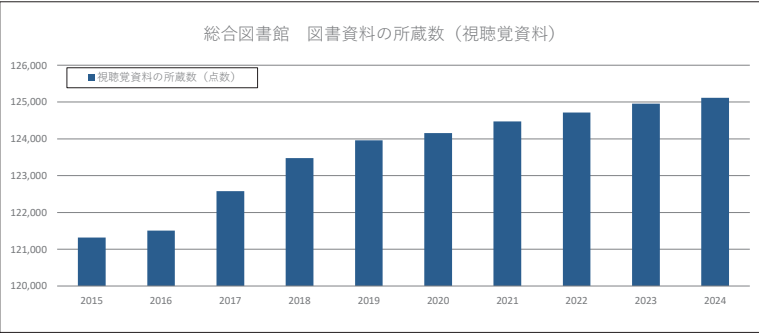
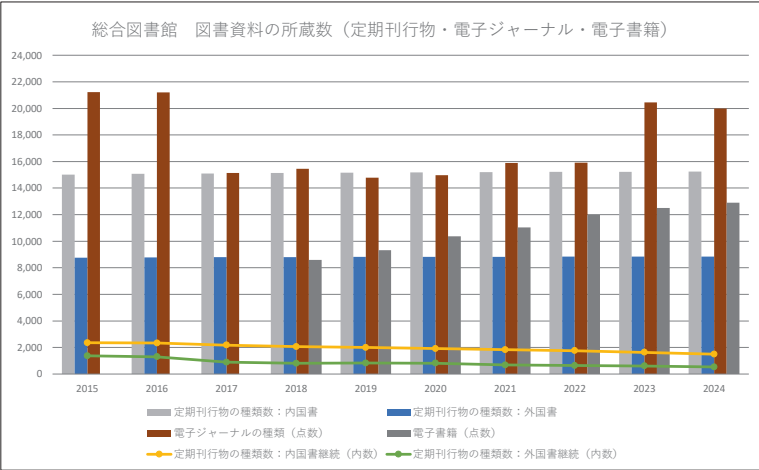
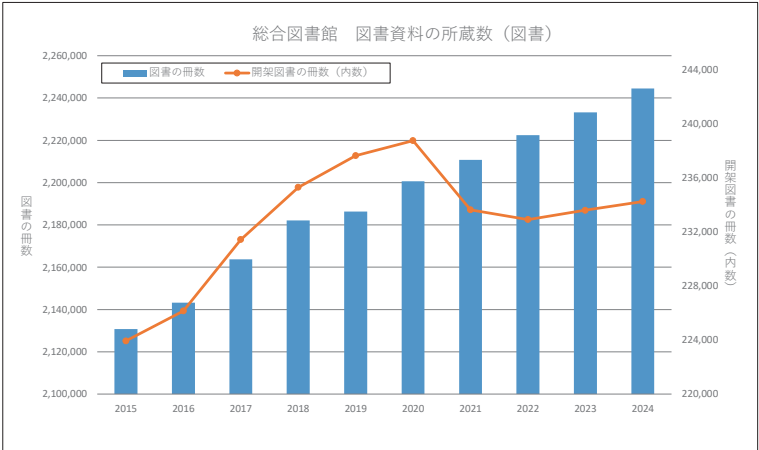
注1 2013年度から2016年度までの数値は、計数処理の都合により作業時点（翌年4月時点）の数字となっている。



(6) 図書資料の所蔵数（総合図書館）

区分	年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
図書	冊数	2,130,800	2,143,182	2,163,705	2,182,077	2,186,252	2,200,616	2,210,742	2,222,418	2,233,235	2,244,544
開架図書	冊数（内数）	223,931	226,129	231,413	235,279	237,619	238,723	233,608	232,900	233,579	234,218
の定期刊行物の種類数	内国書	15,017	15,072	15,095	15,130	15,150	15,172	15,200	15,219	15,230	15,240
	内国書継続（内数）	2,358	2,328	2,177	2,065	2,000	1,925	1,842	1,759	1,634	1,496
	外国書	8,751	8,780	8,791	8,802	8,812	8,817	8,828	8,833	8,836	8,840
	外国書継続（内数）	1,374	1,301	888	817	830	818	686	637	609	535
視聴覚資料	の所蔵数（点数）	121,315	121,502	122,578	123,475	123,958	124,152	124,476	124,713	124,959	125,111
電子ジャーナル	の種類（点数）	21,220	21,206	15,131	15,445	14,787	14,962	15,892	15,911	20,445	19,995
電子書籍	（点数）	—	—	—	8,598	9,321	10,359	11,044	11,988	12,502	12,905

- 注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。
- 注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。
- 注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。
- 注4 電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。
- 注5 電子書籍に係る統計取得は2018年度より開始。

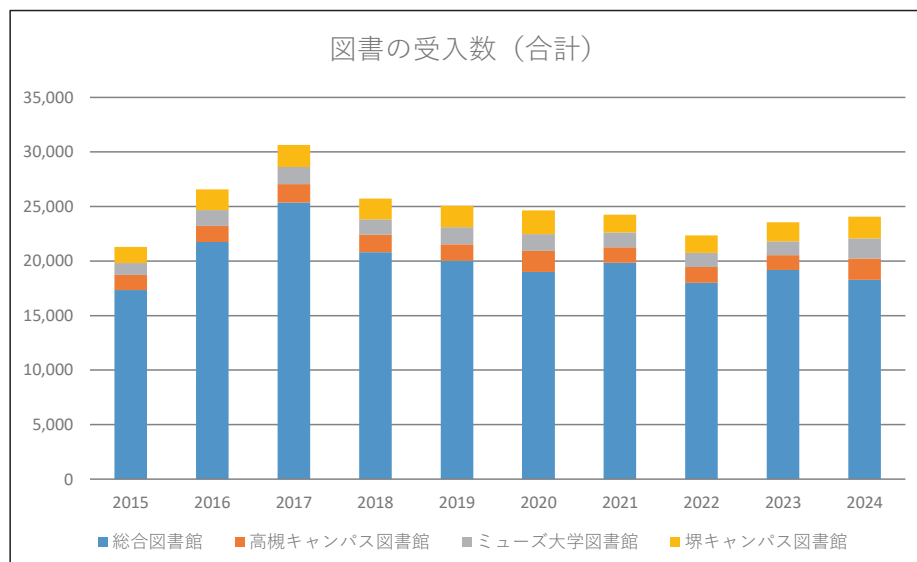
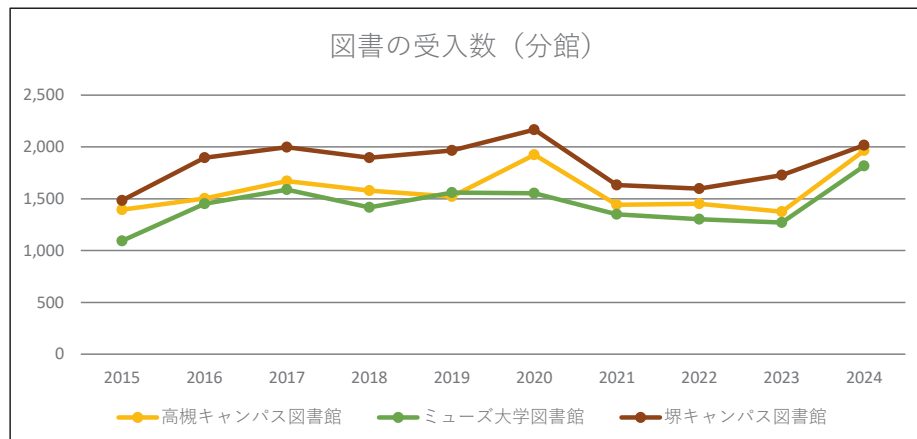
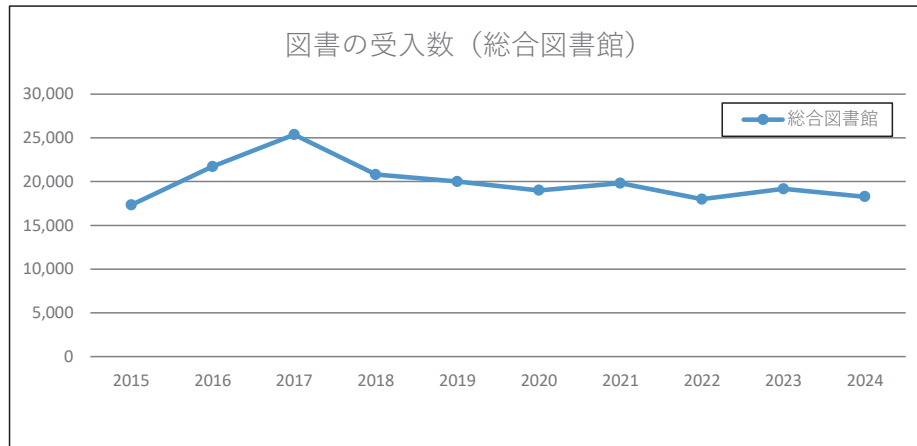


(7) 図書の受入数

(単位：冊)

館名 \ 年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
総合図書館	17,329	21,730	25,369	20,821	20,016	19,004	19,828	18,007	19,173	18,279
高槻キャンパス図書館	1,395	1,501	1,672	1,579	1,521	1,923	1,442	1,452	1,375	1,965
ミューズ大学図書館	1,094	1,450	1,588	1,417	1,560	1,552	1,351	1,303	1,269	1,816
堺キャンパス図書館	1,484	1,896	1,998	1,896	1,967	2,167	1,631	1,598	1,727	2,017
計	21,302	26,577	30,627	25,713	25,064	24,646	24,252	22,360	23,544	24,077

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。



(8) 図書館資料費執行額の推移

(単位：円)

区分 \ 年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
図書（和）	61,906,256	90,865,375	86,294,134	84,288,861	83,701,578	82,100,097	83,168,360	87,744,327	91,547,599	92,959,172
図書（洋）	55,116,434	81,407,431	79,951,962	71,552,046	67,391,716	72,617,188	71,686,744	40,634,295	48,130,125	55,937,158
雑誌（和）	36,374,648	30,454,818	29,520,048	32,401,608	28,552,190	26,869,675	26,583,086	26,667,388	25,837,828	24,872,228
雑誌（洋）	334,227,263	365,449,403	330,814,027	348,152,804	355,108,041	359,138,162	358,823,377	367,965,670	412,373,924	458,855,817
電子媒体	5,259,807	629,996	3,420,619	2,233,737	1,605,997	1,225,125	1,482,679	1,242,186	1,514,194	119,328
マイクロ（和）	1,213,056	629,856	1,797,336	7,318,080	3,333,456	1,785,520	5,045,792	4,932,492	3,625,692	721,692
マイクロ（洋）	0	833,902	373,554	0	0	0	1,188,000	0	0	0
その他の資料	43,495,542	14,256,315	18,258,932	27,649,781	37,072,965	35,469,179	30,534,334	58,552,582	48,288,275	45,048,066
外部データベース	103,823,214	93,344,220	93,257,202	90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395
合計	641,416,220	677,871,316	643,687,814	663,968,265	663,008,641	655,717,795	655,898,339	661,962,191	708,059,336	790,206,856
製本費	5,610,075	8,853,744	7,602,663	6,959,015	6,579,734	5,738,810	7,983,668	6,011,665	5,905,195	6,992,590

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

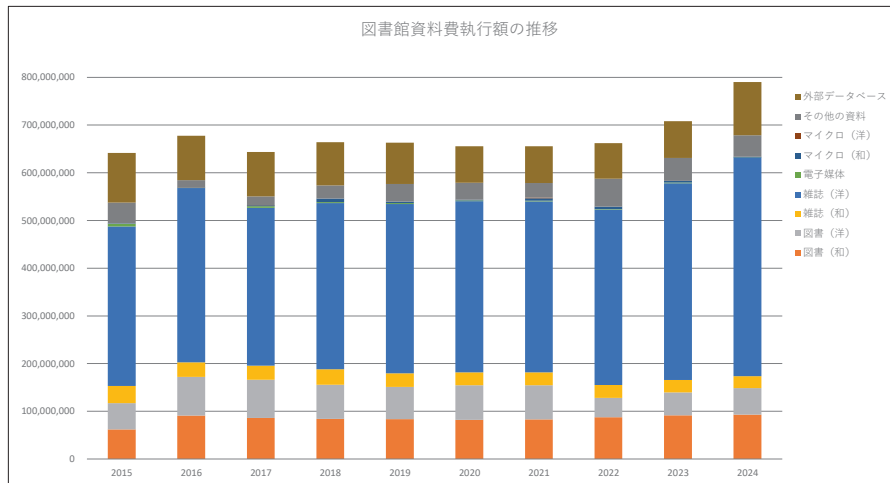
注2 「図書」には電子書籍を含む。

注3 「雑誌」には電子ジャーナルを含む。

注4 「電子媒体」にはCD-ROM、DVD-ROM等を含む。

注5 「その他の資料」には、追録、AV資料を含む。

注6 2013年度以降は、ミューズ大学図書館及び堺キャンパス図書館の図書費執行額を含む。



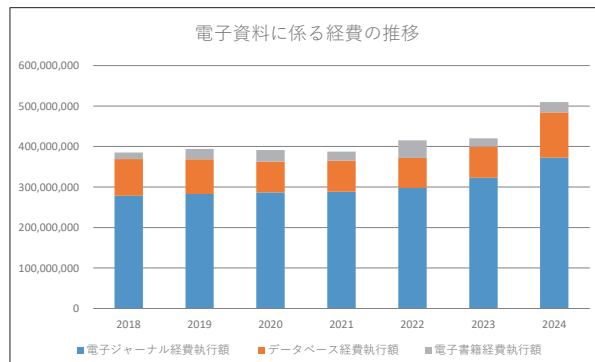
(9) 電子資料に係る経費の推移

(単位：円)

区分 \ 年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
電子ジャーナル経費執行額	278,621,627	282,533,596	286,730,735	288,089,970	297,815,838	323,024,508	372,617,090
データベース経費執行額	90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395
電子書籍経費執行額	16,201,226	25,577,065	28,131,304	21,925,571	43,099,135	20,785,626	25,506,015
合計	385,194,201	394,353,359	391,374,888	387,401,508	415,138,224	420,551,833	509,816,500

注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。

注2 統計取得は2018年度より開始。



3 2024 年度 図書館自己点検・評価委員会名簿

	氏 名	備 考
規程第5条第1号委員	安 武 真 隆	委員長・図書館長
規程第5条第2号委員	菅 原 慶 乃	図書委員会委員（文学部選出）
	中 川 竜 一	図書委員会委員（経済学部選出）
	池 田 峻	図書委員会委員（総合情報学部選出）
	飛 田 哲 男	図書委員会委員（環境都市工学部選出）
規程第5条第3号委員	桑 原 久 佳	学術情報事務局長
規程第5条第4号委員	濱 生 快 彦	学術情報事務局次長（図書館担当）
規程第5条第5号委員	新 谷 大二郎	図書館事務室
	浦 田 恵 子	図書館事務室

【事務局（図書館事務室）】 新谷 大二郎

4 図書館自己点検・評価委員会規程

制定 平成6年1月28日

(趣 旨)

第1条 この規程は、関西大学図書館規程第7条第2項の規定に基づき、図書館自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(任 務)

第2条 委員会は、図書館における教育研究の支援活動及び管理運営の自己点検・評価の取組を行うため、次の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価の方針の策定並びに点検項目の設定及び変更
- (2) データの収集、分析及び検討
- (3) 報告書の作成
- (4) その他自己点検・評価及び第三者評価に関する事項

(各機関の協力)

第3条 委員会は、前条第2号に規定するデータ収集のため、それに関わる各機関に対して協力を求めることができる。

(報 告)

第4条 委員会は、自己点検・評価の結果を図書館長に報告し、図書委員会の議を経て公表することができる。

(構 成)

第5条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 図書館長
- (2) 図書委員のうちから図書館長が指名する者若干名
- (3) 学術情報事務局長
- (4) 学術情報事務局次長（図書館担当）
- (5) 図書館事務職員から若干名
- 2 図書館長が必要と認めた場合、2名以内に限り、図書委員会の議を経て大学内外の有識者に委員を委嘱することができる。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は図書館長をもって充て、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(委員の任期)

第7条 第5条第1項第2号及び第5号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運 営)

第8条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

- 3 委員会は、必要に応じて、委員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事 務)

第9条 委員会の事務は、図書館事務室が行う。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成13年10月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この規程（改正）施行後最初に第5条第3号及び第4号の規定により選出された委員の任期は、第7条第1項本文の規定にかかわらず、平成16年3月31日までとする。

附 則

この規程（改正）は、平成18年10月12日から施行し、平成18年8月1日から適用する。

附 則

この規程（改正）は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、2019年10月1日から施行する。

図書館を飛び出す資料たち

～出陳・放映を見つめて～

吉 永 栄 子

1. 初めに

関西大学図書館には約 240 万点の資料が所蔵されており、閲覧や貸出だけでなく、学外から出陳（美術館等で実施される展覧会などに展示すること）や放映の依頼をいただくことがある。

『関西大学図書館フォーラム』では毎年、自己点検・評価関係資料の統計において出陳・放映に関する項目を掲載しているが、本稿では私が担当した期間（2021～2023 年度）を含めた、2019 年度から 2023 年度までの過去 5 年の出陳・放映状況を整理してみたい。そして、最も希望の多かった資料ベスト 5 を紹介させていただきたい。

2. 近年の出陳・放映状況について

現在、関西大学図書館の蔵書は総合図書館だけでも 2,233,235 点¹⁾。その中には貴重図書や準貴重図書、文庫（特別）資料というように通常の資料とは扱いの異なる資料も存在している。出陳・放映で依頼されるのは一般資料よりはこの貴重図書や準貴重図書、文庫（特別）資料が主となっている。

過去 5 年間の出陳・放映の件数および資料数は以下のとおりである²⁾。

年度	出陳・放映の 件数	出陳・放映の 資料数
2019	9 件 (6 件)	66 点 (34 点)
2020	2 件 (1 件)	6 点 (5 点)
2021	10 件 (6 件)	122 点 (82 点)
2022	12 件 (6 件)	32 点 (13 点)
2023	9 件 (8 件)	38 点 (37 点)

※学外からの出陳・放映依頼に限定。() 内は放映を除いた数値。

※件数は展示会の数で算出。(同展示会で開催地が異なるものは 1 件にまとめた)

出陳資料数は請求記号ごとに算出。請求記号がないものはタイトルで算出した。

年度をまたいだ展示会は前年度分のみ統計に含めるものとした。

※内藤文庫資料のうち一部をまとめて 1 点とみなしたものがある。

上記から分析すると、2019 年度から 2023 年度の平均件数は 8 件で、年々増加しているというよりも横ばいで推移していることが分かった。2020 年度は件数・資料数ともに減少しているが、これはコロナ禍の影響によるものと推測される。2021 年度以降の件数は回復しているため、出陳・放映については、コロナ禍を経ても変わらず、多くの依頼があったと言えるだろう。

資料数については 2021 年度が 2019 年度の 2 倍近く、2020、2022、2023 年度と比較すると 3 倍以上の出陳・放映資料数で突出していることが分かった。出陳・放映の依頼は、作者や画壇の節目の年に当たるかどうか、関連資料が所蔵されているか否かによっても変動するが、2021 年度の出陳・放映の件数は例年と同程度であることからこの時は依頼のあった展示会に関連する重要な資料の多くが関西大学図書館に所蔵されていたことが伺える。

3. 過去 5 年間の出陳・放映資料ベスト 5

それでは、過去 5 年間で最も出陳・放映依頼のあった資料を紹介していきたい。出陳回数は全て同数であったため、No.1～No.5 として記載している。また、番外編として出陳・放映回数は上記 5 点に及ばなかったものの担当として印象に残った資料についても少しだけ紹介させていただきたい。

No.1：木村兼葭堂『花蝶之図』（請求記号：N8C2*721.7*5 資料ID：206272596）³⁾⁴⁾
2019・2021・2023年度の3回の依頼。



『花蝶之図』は1軸：38cmで、木村兼葭堂によって江戸中期頃に作成されたとされる作品であり、貴重書庫に配架されている³⁾。

作者の木村兼葭堂は元文元年（1736）に北堀江（現在の大阪市西区）に生まれ、名は孔恭、字は世肅、号を巽斎としていた。兼葭堂とは彼の家の書庫の名である⁵⁾。

図録『サロン！：雅と俗：京の大家と知られざる大坂画壇＝Salon culture and the pictorial arts of Kyoto and Osaka』の中谷伸生氏による解説では「右下に「撫清人鄭山如設色於澄心齋中 巽斎孔恭写」とあり」、「赤い若葉をつけた海棠と、紫の花を咲か

せる朝顔、それに止まろうとしている蝶を描いている。」とされている⁶⁾。

担当当初は『花蝶之図』というタイトルから、単に白黒の草花に蝶が描かれていると想像していたが、実際は鮮やかな赤色に一瞬で目を奪われた資料である。3年間担当した資料の中でも特に印象に残った資料で、出陳から戻ってきてもすぐに次の出陳依頼が入るほどの人気であった。

No.2：木村兼葭堂ほか『大坂文人合作扇面』（請求記号：C2*721.7*O3*1 資料ID：203302486）⁷⁾⁸⁾
2019・2021・2023年度の3回の依頼。



『大坂文人合作扇面』は1軸：64cm、本紙部分は17.8×50.5cmで、木村兼葭堂ほかによって、江戸中期頃に作成されたとされる作品であり、貴重書庫に配架されている。作者が木村兼葭堂ほかとなっているのは署名として「山陰、拙古、熊岳、芳中、五岳、半斎、巽斎、奉時」の記載があるためである⁷⁾。

図録『サロン！：雅と俗：京の大家と知られざる大坂画壇＝Salon culture and the pictorial arts of

Kyoto and Osaka』の中谷伸生氏による解説では「兼葎堂と交流した人々たちによる合作となっているが、大坂の画家たちは、流派を越えて親交を結んだ。本扇面画もその例証の1点である」とされている⁹⁾。

初めて見た際は、軸資料には絵が直接描かれているものと思っていたので、扇面が貼り付けられていたことが意外であった資料である。

No.3: 松屋耳鳥斎『別世界巻』(請求記号: C2*721.8*M1*4 資料ID: 205815103)¹⁰⁾¹¹⁾
2020・2020(放映)・2021年度の3回の依頼。



『別世界巻』は1軸; 24.3 × 1171.0cm、本紙部分は 24.3 × 1149.0cm (9紙継)で、松屋耳鳥斎によって江戸中期頃に作成された作品であり、貴重書庫に配架されている¹⁰⁾。

作者の松屋耳鳥斎は生年不詳で、大坂京町堀三丁目界限で酒造業を営む家に生まれ、鳥羽絵といわれる狂画の名手と知られており、木村兼葎堂らとも交流があったとされる¹²⁾。

図録『奇才—江戸絵画の冒険者たち—』の我妻直美氏による解説では「地獄落ちた人々が」描かれており、しかも「その地獄が、生前関わっていた仕事からみの責め苦になっている」作品であり、「いかにも痛そうな、苦しそうな状態なのだが、死人たちの表情や仕草にはあまり悲壮感がなく、見る者の笑

いをさそう。だがその笑いが、耳鳥斎の高い描写力に裏打ちされていることは重要だ」とされている¹³⁾。

『別世界巻』というタイトルから派手な絵柄か、風変りなものなのだろうかと想像していたが、実際はちょこんと座った鬼の絵などが出てきたのが予想外であった資料である。ただ、よくみると通常の地獄絵とは異なり、面白い描写をされている。

No.4: 岡田半江『山水図巻』(請求記号: C2*721.7*O6*3 資料ID: 203991087)¹⁴⁾¹⁵⁾
2021・2022・2023年度の3回の依頼。



『山水図巻』は1巻; 16.5cm、本紙部分は 14.7 × 400.7cmで、岡田半江によって天保2年(1841)に作成されたとされる作品であり、貴重書庫に配架されている¹⁴⁾。

作者の岡田半江は天明2年(1782)生まれで、大坂の文人画家である岡田米山人の子であり、名は肅、字は子羽、号は半江・小米などである。頼山陽、田能村竹田などと交流があったとされる¹⁶⁾。

図録『サロン! : 雅と俗: 京の大家と知られざる大坂画壇 = Salon culture and the pictorial arts of Kyoto and Osaka』の中谷伸生氏による解説では「半江が友人と一緒に淀川の舟遊びにゆき、そのときの思い出を絵画化している」作品で、「淀川を中国の長江に重ねて描いた画卷である」とされている¹⁷⁾。

山水図で巻物は珍しいと思い、印象に残っている。関西大学図書館にはこの『山水図巻』だけでなく『山水図』（十時梅厓作）、『山水図』（岡田米山人作）や『米法山水図』というように「山水図」と名の付く資料（主に軸もの）が多いので、担当当初は、どれが何だと混乱していたものである。皆さんもぜひ「山水図」で蔵書検索してみていただきたい。私の混乱が分かるはずである…。

No.5： 田能村竹田『竹田荘師友畫録，上下巻』

（請求記号：*721.028*T1*1 資料ID：302166360）¹⁸⁾¹⁹⁾

2022・2023・2023年度の3回の依頼。



『竹田荘師友畫録，上下巻』は1冊；24cmで、田能村竹田によって明治11年（1878）に作成されたとされる作品であり、B1書庫に配架されている¹⁸⁾。

図録『開館40周年記念岡田米山人と半江』の村上敬氏の解説によると「田能村竹田による師友百五名の小伝」であり、「伝記の根本資料に乏しい岡田父子の研究における重要文献である」とされている²⁰⁾。

作者の田能村竹田は安永6年（1777）生まれで、豊後国直入郡竹田村（大分県竹田市）岡藩で活動した医者の子に生まれ、名は孝憲、字は君彝、通称は行蔵、別号は竹田老圃などであり、岡田半江や浦上春琴などと交流したとされる²¹⁾。

今回、出陳・放映回数を調べる中でベスト5に入った唯一の冊子資料である。出陳いただく際に「内容のこの部分が今回の展示会で重要なのです」と依頼者に解説いただきながら、こちらを担当として学

ばせていただいたものである。

〈番外編〉ベスト5以外で担当が印象に残った資料

- ・大岡春卜『浪花及澱川沿岸名勝図巻』（請求記号：C2*721.4*O1*1 資料ID：202165566）²²⁾²³⁾



『浪花及澱川沿岸名勝図巻』は1軸；27.0×823.8cm、本紙部分は27.0×798.5cmであり、大岡春卜によって延享2年（1745）に作成されたとされる作品で、貴重書庫に配架されている²²⁾。

作者の大岡春卜は墓碑名に「大坂ノ人」と刻まれており、心齋橋や浪花松江町で暮らしたとされる。姓は大岡、名は愛董、字は春卜、号は雀吃、式部卿などがある。絵手本の版本を次々に出版し、京や大坂の画家に大きな影響を与え、木村兼葭堂や伊藤若冲の最初の師であったとされている²⁴⁾。

図録『サロン！：雅と俗：京の大家と知られざる大坂画壇＝Salon culture and the pictorial arts of Kyoto and Osaka』の中谷伸生氏による解説では、「春卜66歳の円熟期の作品で、堺から淀に至る淀川沿岸の風景が描かれている。」などと解説されている²⁵⁾。

この資料は細かな色使いや描写が素晴らしい資料なのだが、とにかく絵が長く、出陳の際の状態確認に時間を要したのを覚えている。複数の依頼が同期間で重複しそうになったこともある資料なのだが、

今回統計をとった結果、過去5年の依頼が2回しかなくベスト5に入らなかったのは担当した身としては驚きであった。

- ・中井藍江『楨桧群鹿図』(請求記号：N8C2*721.8*5 資料ID：206222220)²⁶⁾²⁷⁾



『楨桧群鹿図』は6曲1双：184.5×165cm、本紙部分は各167.8×366.0cmで紙本金地墨画になっており、中井藍江によって江戸末期頃に作成されたとされる作品で、貴重書庫に配架されている²⁶⁾。

作者の中井藍江は明和3年(1766)生まれの大坂の人であり、名は直あるいは真、字は伯養、子養、養三、号は藍江、師古、俗称は養清で、中井竹山に詩文を学んで木村兼葭堂と親しく交流したとされる²⁸⁾。

関西大学名誉教授中谷伸生氏によると、この『楨桧群鹿図』は「大坂四条派の特質を明らかにする金屏風だといってよく、大きな余白を用いた作風がその特徴であろう」と述べられている²⁹⁾。

担当した3年間でも出陳は1回だけであったが、屏風の金色がとても綺麗であった。鹿の絵は胴体が本物の鹿よりも丸型に描かれているのが、面白く感じた資料であった。

以上、過去5年間の出陳・放映資料ベスト5と番外編の合計7点を紹介させていただいたが、貴重図書や準貴重図書、文庫(特別)資料の利用にあたっては、事前に関西大学図書館所定の手続きが必要となるのでご注意ください。(詳細は関西大学図書館ウェブサイトの「貴重書、準貴重書等 特別蔵書のご利用について」等を参照いただきたい)³⁰⁾

4. 終わりに

2019年度から2023年度までの過去5年の出陳・放映状況を整理した結果、件数は合計42件、資料数

は合計264点となった。依頼が多かった資料は同数で『花蝶之図』・『大坂文人合作扇面』・『別世界巻』・『山水図巻』・『竹田荘師友畫録、上下巻』であった。

多くの機関に本学図書館資料を出陳・放映対象として選んでいただけたことは嬉しい限りである。皆様もぜひ、美術館や博物館での展示やテレビ放映等で関西大学図書館所蔵資料がないかを探していただけたらと思う。そして機会があれば関西大学図書館でも実際に資料をご覧になっていただけたらと思う。

最後に、2024年度以降は担当から離れたものの、今回、このような執筆の機会をいただけたこと、深く感謝申し上げる。貴重書担当として従事した2021年度からの3年間だけでも192点と多くの資料を出陳・放映へと送り出すことができたこと、展示・放映いただいた資料を美術館や博物館、テレビ等で実際に目にするのはとても嬉しく誇らしいものであった。関係者の皆様にも改めて厚く御礼申し上げたい。

引用文献

- 1) 関西大学図書館『関西大学図書館フォーラム』第29号(2024)[参照2025年3月31日]
(URL) <https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/wysiwyg/file/download/1/2461>
- 2) 関西大学図書館『関西大学図書館フォーラム』第25号～第29号[参照2025年3月8日]
(URL) <https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/library/lbpb>
- 3) 関西大学図書館蔵書検索システム『花蝶之図』[参照2025年3月23日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB37848490>
- 4) 関西大学デジタルアーカイブ『花蝶之図』[参照2025年3月19日]
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/206272596#?page=1
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/206272596#?page=3より転載。画像の余白を削除した部分がある。
- 5) 平井啓修編集『サロン! : 雅と俗 : 京の大家と知られざる大坂画壇=Salon culture and the pictorial arts of Kyoto and Osaka』京都国立近代美術館 2022年9月20日発行 p.299
- 6) 平井啓修編集 前掲書5) p.169
- 7) 関西大学図書館蔵書検索システム『大坂文人合作扇面』[参照2025年3月23日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB1>

- 6302486
- 8) 関西大学デジタルアーカイブ『大坂文人合作扇面』[参照 2025 年 3 月 19 日]
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/203302486#?page=1.
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/203302486#?page=3 より転載。
 - 9) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 93
 - 10) 関西大学図書館蔵書検索システム『別世界巻』[参照 2025 年 3 月 23 日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB37649576>
 - 11) 関西大学デジタルアーカイブ『別世界巻』[参照 2025 年 3 月 19 日]
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/205815103#?page=1
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/205815103#?page=4 より転載。一部画像の彩度を調整している。
 - 12) 我妻直美 ほか編 ダニエル・モラン訳『奇才—江戸絵画の冒険者たち—』読売新聞社 2020 年発行 p. 157
 - 13) 我妻直美 ほか編 ダニエル・モラン訳 前掲書 12) p. 158-161
 - 14) 関西大学図書館蔵書検索システム『山水図巻』[参照 2025 年 3 月 23 日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB16991087>
 - 15) 関西大学デジタルアーカイブ『山水図巻』[参照 2025 年 3 月 19 日]
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/203991087#?page=1.
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/203991087#?page=7 より転載。一部画像の彩度を調整している。
 - 16) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 291
 - 17) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 90-91
 - 18) 関西大学図書館蔵書検索システム『竹田荘師友畫録, 上下巻』[参照 2025 年 3 月 23 日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB38643729>
 - 19) 画像は『竹田荘師友畫録, 上下巻』 関西大学図書館所蔵を撮影し掲載。
 - 20) 村上敬、道田美貴編『開館 40 周年記念岡田米山人と半江』三重県、三重県立美術館, 2022 年 9 月 23 日発行 p. 127-128
 - 21) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 313
 - 22) 関西大学図書館蔵書検索システム『浪花及澱川沿岸名勝図巻』[参照 2025 年 3 月 23 日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB15165566>
 - 23) 関西大学デジタルアーカイブ『浪花及澱川沿岸名勝図巻』[参照 2025 年 3 月 19 日]
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/202165566#?page=1.
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/202165566#?page=9 より転載。画像に明るさや彩度の調整、余白削除をしている。
 - 24) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 289
 - 25) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 88-89
 - 26) 関西大学図書館蔵書検索システム『楨松群鹿図』[参照 2025 年 3 月 23 日]
(URL) <https://www.lib.kansai-u.ac.jp/webopac/BB37833057>
 - 27) 関西大学デジタルアーカイブ『楨松群鹿図』(楨松群鹿図屏風) [参照 2025 年 3 月 19 日]
(URL) https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/osaka_gadan/206222220#?page=2 より転載。画像の余白を削除した部分がある。
 - 28) 平井啓修編集 前掲書 5) p. 317
 - 29) 中谷伸生「木村兼葭堂の周辺から次世代の画家たちへ」(関西大学学術リポジトリ)
[参照 2025 年 3 月 23 日]
(URL) <https://kansai-u.repo.nii.ac.jp/records/1177>
(URL) <https://kansai-u.repo.nii.ac.jp/record/1177/files/KU-0200-20170331-03.pdf>
 - 30) 関西大学図書館ウェブサイト「貴重書、準貴重書等 特別蔵書のご利用について」
[参照 2025 年 3 月 26 日]
(URL) <https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/service/applist/kichosho>

以 上

(よしなが えいこ 図書館事務室)

2024年度図書館活動報告

1 図書委員会

- 第1回：2024年4月17日(水) [オンライン開催]
- 第2回：2024年5月15日(水) [オンライン開催]
- 第3回：2024年6月19日(水) [オンライン開催]
- 第4回：2024年7月17日(水) [オンライン開催]
- 第5回：2024年9月25日(水) [オンライン開催]
- 第6回：2024年10月16日(水) [オンライン開催]
- 第7回：2024年11月20日(水) [オンライン開催]
- 第8回：2024年12月18日(水) [オンライン開催]
- 第9回：2025年1月22日(水) [持ち回り開催]
- 第10回：2025年2月19日(水) [オンライン開催]
- 第11回：2025年3月18日(火) [持ち回り開催]

2 大型パッケージのPayPerView方式への変更検討のための専門部会

- 第3回：2024年4月24日(水) [オンライン開催]
- 第4回：2024年5月22日(水) [オンライン開催]
- 第5回：2024年6月26日(水) [オンライン開催]

3 図書館自己点検・評価委員会

- 第1回：2024年7月17日(水) [オンライン開催]

4 図書館会議

図書委員会開催の前週火曜日に図書館長と図書館職員で「図書館会議」を開催し、次回図書委員会事項等を協議している。

5 関西四大学図書館長会議

- ・開催日：2024年9月18日(水)
- ・場 所：Zoom 利用によるオンライン会議
- ・出席者：関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学 各大学図書館長及び事務管理職者

(1) 報告事項

- ① 関西四大学図書館連絡会（2024.8.6開催）について
- ② 関西四大学図書館職員研修会（2024.10開催予定）について

(2) 近況報告・情報交換

「PayPerView 契約」、「オープンサイエンス」、「図書館間文献相互利用の補助制度」などについて情報交換を行った。

6 講演会・セミナー・講習会等の開催

(1) 講習会

- ・開催日：2024年4月18日(木)、19日(金)
- ・演 題：「学術データベース CAS SciFinder-n 講習会」
- ・講 師：化学情報協会
三ツ井友美佳氏、通山紫乃氏

(2) 館内での研修会①

- ・開催日：2025年3月28日(金)
- ・演 題：「テクニカルサポートの最終講義～情報を作ること・探すこと・伝えること～」
- ・主催者：紀伊国屋書店

(4) 館内での展示①

- ・開催日：2024年4月1日(月)～7月31日(水)
- ・内 容：「いろはにほん」
- ・場 所：総合図書館

(5) 館内での展示②

- ・開催日：2024年4月～6月
- ・内 容：企画展「デジタル化とコミュニケーション」
- ・場 所：高槻キャンパス図書館

(6) 館内での展示③

- ・開催日：2024年4月～6月
- ・内 容：企画展「新学期です！何か始めてみませんか？ — 図書館で心機一転 —」
- ・場 所：ミューズ大学図書館

(7) 館内での展示④

- ・開催日：2024年4月～6月
- ・内 容：企画展「なりたい自分になる！」
- ・場 所：堺キャンパス図書館

(8) 館内での展示⑤

- ・開催日：2024年5月9日(木)～24日(金)
- ・内 容：日・EU フレンドシップウィーク・プログラム「EU 諸国の食文化」
- ・場 所：総合図書館

(9) 館内での展示⑥

- ・開催日：2024年7月～9月
- ・内 容：企画展「情報技術の現在 / 過去」
- ・場 所：高槻キャンパス図書館

(10) 館内での展示⑦

- ・開催日：2024年7月～9月
- ・内 容：企画展「Sex, Gender, Sexuality」
- ・場 所：ミューズ大学図書館

- (11) 館内での展示⑧
- ・開催日：2024年7月～9月
 - ・内 容：企画展「スポーツを支える技術」
 - ・場 所：堺キャンパス図書館
- (12) 館内での展示⑨
- ・開催日：2024年9月24日(火)～2025年1月31日(金)
 - ・内 容：SDGs×多様性
 - ・場 所：総合図書館
- (13) 館内での展示⑩
- ・開催日：2024年10月～12月
 - ・内 容：企画展「ゲームは1日1時間」
 - ・場 所：高槻キャンパス図書館
- (15) 館内での展示⑪
- ・開催日：2024年10月～12月
 - ・内 容：企画展「まちづくり」
 - ・場 所：ミューズ大学図書館
- (16) 館内での展示⑫
- ・開催日：2024年10月～12月
 - ・内 容：企画展「ココロとカラダの休め方」
 - ・場 所：堺キャンパス図書館
- (17) 館内での展示⑬
- ・開催日：2025年1月～3月
 - ・内 容：企画展「『ことば』を話すとは」
 - ・場 所：高槻キャンパス図書館
- (18) 館内での展示⑭
- ・開催日：2025年1月～3月
 - ・内 容：企画展「ハローワールド」
 - ・場 所：ミューズ大学図書館
- (19) 館内での展示⑮
- ・開催日：2025年1月～3月
 - ・内 容：企画展「ケアについて考える」
 - ・場 所：堺キャンパス図書館
- (20) 館内での展示⑯
- ・開催日：2024年10月～2025年1月
 - ・内 容：特別展「理想の本箱」第1回「同性を好きになったときに読む本」、第2回「もっとお金が欲しい時に読む本」、第3回「勉強したくない時に読む本」
 - ・場 所：総合図書館
- (21) 各種ガイダンス
- 図書館利用者教育の一環として、各種ガイダンスを実施した。
- 「入門ガイダンス」
- 新入生のクラスを対象に図書館の基本的な利用方法と蔵書検索システム KOALA の使い方を説明。
- ・実施期間：春学期4月5日(金)～6月29日(土)
 - 秋学期9月21日(土)～11月30日(土)

- 「活用ガイダンス」
- 【基本編】では、学習や研究に不可欠な、情報検索の基本を解説。個別に【データベース編】を選択・追加し、カスタマイズすることも可能。
- ・実施期間：春学期4月5日(金)～6月29日(土)
 - 秋学期9月21日(土)～11月30日(土)
- 「入庫ガイダンス」
- 「書庫の利用方法」ビデオ視聴により、学部3年次以上の学生に入庫資格を認める。
- 図書館ミニ・ガイダンス
- 蔵書検索システム KOALA をはじめ、新聞、論文、雑誌記事、法情報などのデータベースから説明を受けたいデータベースを自由に選んで受講できる、1対1のオーダーメイド型ガイダンスを実施。春学期には「地下書庫ツアー」を2回実施。
- ・実施期間：春学期5月～7月
 - 秋学期10月～12月

7 規程・内規・要領の改正

- (1) 関西大学図書館規程の一部改正
- ・改正理由：
 - 1) 2025年4月から吹田みらいキャンパスに吹田みらいキャンパス図書館を置くため。
 - 2) リポジトリの管理・運用にかかる会議体として現行の「リポジトリ運営委員会」を廃止し、関連業務の所管を「図書委員会」に移管するため。
 - ・改正箇所：第1条、第10条
 - ・改正内容：同上。
 - ・改正施行期日：2025年4月1日
- (2) 関西大学図書館図書管理規程の一部改正
- ・改正理由：
 - 1) 吹田みらいキャンパス図書館に備え付ける図書に付する登録番号体系を追加するとともに、ミューズ大学図書館と堺キャンパス図書館で採番しなかった、もしくは、採番を終了した登録番号体系について実態に合わせて修正するため。
 - ・改正箇所：別表第2
 - ・改正内容：同上。
 - ・改正施行期日：2025年1月23日施行、2024年7月1日から適用
- (3) 関西大学図書館利用規程の一部改正
- ・改正理由：
 - 1) 2025年4月から吹田みらいキャンパスに設置される吹田みらいキャンパス図書館の利用について、関西大学図書館利用規程を準用するものとするため。
 - ・改正箇所：附則の追加
 - ・改正内容：同上。

- 改正施行期日：2025 年 4 月 1 日
- (4) 関西大学図書委員会規程の一部改正

- 改正理由：

- 1) リポジトリの管理・運用にかかる会議体として
現行の「リポジトリ運営委員会」を廃止し、関
連業務の所管を「図書委員会」に移管するため。

- 改正箇所：第 5 条

- 改正内容：同上。

- 改正施行期日：2025 年 4 月 1 日

- (5) 関西大学学術リポジトリ管理・運用規程の一部改正

- 改正理由：

- 1) リポジトリの管理・運用にかかる会議体として
現行の「リポジトリ運営委員会」を廃止し、関
連業務の所管を「図書委員会」に移管するため。

- 改正箇所：第 2 条～第 5 条

- 改正内容：同上。

- 改正施行期日：2025 年 4 月 1 日

以 上

ILL 費用補助制度の導入について

上 田 果 歩

関西大学では、図書費予算外で資料を利用できる機会を担保するためのセーフティネット構築施策の一つとして、図書館間相互利用文献複写サービス及びドキュメントデリバリーサービスの費用補助制度（以下「ILL 費用補助制度」という。）を 2024 年度に導入した。本稿では、ILL 費用補助制度の概要や導入経緯、導入後の利用実績、そして今後の展望について報告する。

1 制度概要

複写費、郵送費、著作権処理料などの図書館間相互利用文献複写サービス（以下「ILL」という。）及びドキュメントデリバリーサービス（以下「DDS」という。）にかかる料金について、教員は 5 割、学生は 8 割を大学が補助し、残額を利用者が資料の受け取り時に支払う制度である。

補助割合については、当初教員・学生ともに半額の 5 割を想定していたが、その後の会議や委員会を経て、学生はより補助率の高い 8 割を設定することになった。

利用者負担額については、10 円未満の端数は切り捨てることとしており、2024 年度時点では一人あたりの件数上限は設定していないが、1 件 6,000 円を超えるものは不可とし、予算を超過する場合は図書館事務室全体予算の範囲内で執行することとしている。（参考）2024 年度予算：（教員）915,000 円、（学生）1,464,000 円。

○補助対象者

ILL 費用補助制度を利用できるのは、本学学生および教員等である。具体的な資格は以下のとおり。

学生（学部学生、交流学生、交換留学生（学部）、

留学生別科生、語学留学コース受講生、大学院学生、交換留学生（大学院）、教員（大学専任教員、大学特任外国語講師、常勤外国語講師、特別任用教育職員、特別契約教授、別科特任常勤講師、特別任命教育職員、特別任命教育職員（チェアプロフェッサー）、客員教授、特別顧問教授、教育顧問、RISS 助教）

○対象となる資料

ILL 及び DDS 対象資料を ILL 費用補助制度の対象としているが、以下に挙げる資料については対象外とする。

- (1) 校費（個人研究費、実験実習費、その他の校費）で負担するもの
- (2) 現物貸借依頼資料
- (3) 申し込みが 2 月中旬以降となるもの（事務処理が 3 月になるもの）
- (4) 以下の対象であることが判明した資料
 - ア 国立情報学研究所（以下、「NII」という。）の図書館相互利用文献複写等料金相殺サービス対象外で証憑書類（請求書など）が発行されないもの、外貨による海外口座送金が必要なもの、支払いに現金（切手、為替、現金書留）が必要なものなど
 - イ 電子的複写以外の方法により複写が実施されるなどにより、著しく費用が高額（1 件 6,000 円以上）となる資料
 - ウ 複写の依頼であったものが貸借による対応に変更された資料。この場合、貸借後の本学における複写料についても、本制度の対象外とする。
- (5) NII の図書館相互利用文献複写料金相殺サービ

スに参加する機関から電子媒体で提供のあった資料のプリントアウト料金

2 導入経緯

本学図書費予算のあり方については、図書館長および各学部から選出された委員等で構成された図書委員会を意思決定機関とし、検討、運用を行っている。これまでの図書費執行ルール適用期間は2023年度までとなっていたため、2024年度以降の図書費執行ルールの検討を重ねていた。

2024年度以降の図書費予算のあり方に関する検討の下、昨今の資料費の高騰に係る電子ジャーナルパッケージや冊子体雑誌、個別契約電子ジャーナル、データベースの解約に伴う利用者の利便性低下が想定されることから、その補完措置としてILL費用補助制度の検討が進められた。その結果、2023年度第3回図書委員会（2023年6月21日開催）において、本制度の導入が承認された。なお、費用補助の対象となるのは、解約タイトルに限らず、補助対象外資料を除く相互利用で入手できる資料すべてを対象としている。

3 利用実績

利用に関する各実績は次のとおりである。

○全体の件数および補助額¹⁾

費用補助対象者からの依頼件数としては、2023年度から191件増の729件を受け付けた。教員は2023年度と同水準であったが、学生は186件増との結果となった。一方で、複写料金については2023年度から大幅に減少しているように見えるが、2023年度は1件96,000円を超える高額なものが含まれていることが要因である。

表1 2024年度の件数および補助額

	依頼 (件)	複写料金 (円)	平均単価 (円)	補助割合	補助額 ²⁾
教員	58	24,797	427	5割	12,557
学生	671	206,863	308	8割	168,253
合計	729	231,660	—	—	180,810

表2 2023年度の件数および補助額（仮算出）³⁾

	依頼 (件)	複写料金 (円)	平均単価 (円)	補助割合	補助額
教員	53	141,721	2,673	5割	76,860
学生	485	213,055	439	8割	170,444
合計	538	354,776	—	—	247,304

○利用者の実人数および月別の利用実績

教員は年間58件、学生は年間671件の利用があった。そのうち、実人数としては教員11名、学生141名であり、複数回の利用者が多いことが分かる。また、学生利用者の内訳としては、学部学生141名、大学院学生523名であった。

表3 利用者の実人数

利用実人数（人）	
教 員	11
学 生	141
合 計	152

表4 学生利用者の内訳

利用実人数（人）	
学 部 学 生	56
大学院学生	85
合 計	141

表5 月別の利用実績

年月	教員(件)	学生(件)	教員(円)	学生(円)
2024年 4月	5	30	949	7,491
2024年 5月	5	68	584	24,186
2024年 6月	9	49	2,647	12,046
2024年 7月	3	133	470	31,021
2024年 8月	1	34	1,425	9,109
2024年 9月	7	68	1,572	13,828
2024年10月	10	54	981	22,054
2024年11月	8	61	787	15,741
2024年12月	5	148	2,410	23,986
2025年 1月	0	14	0	4,502
2025年 2月	5	12	732	4,289
合 計	58	671	12,557	168,253

○所属別の利用件数

所属別で見ると、学部学生の1年次生の利用は0件であった。また、経済学部、総合情報学部、人間健康学部、システム理工学部は学年にかかわらず利

用はなかった。学部学生の利用が伸び悩む一方で、大学院は修士課程、博士課程ともに 200 件を超える利用があった。

表 6 所属別の利用件数

学部・院課程	利用 件数	学年 ⁴⁾			
		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次 以上
法 学 部	7	0	0	1	6
文 学 部	110	0	1	7	102
経 済 学 部	0	0	0	0	0
商 学 部	5	0	0	0	5
社 会 学 部	10	0	0	2	8
政 策 創 造 学 部	2	0	0	0	2
外 国 語 学 部	3	0	0	0	3
総 合 情 報 学 部	0	0	0	0	0
人 間 健 康 学 部	0	0	0	0	0
社 会 安 全 学 部	5	0	0	0	5
システム理工学部	0	0	0	0	0
環境都市工学部	4	0	0	0	4
化学生命工学部	2	0	0	0	2
修 士 課 程	216	46	170	—	—
博 士 課 程	295	225	70	—	—
専 門 職 大 学 院	12	2	10	—	—
合 計	671	273	251	10	137

4 今後の展望

制度導入から 1 年が経過し、通年の利用状況が詳らかとなった。先述のとおり、資料費高騰の影響を受けて電子ジャーナルパッケージやデータベースその他の各種タイトルを解約することとなる中で、利用者の利便性をこれまでどおり担保することを目的に導入された本制度だが、初年度の利用は予算（教員：915,000 円、学生：1,464,000 円）を大きく下回る結果となった。これは、初年度どれくらいの利用があるか見込めなかったため、制度に関する広報を積極的に行っていなかったことが要因の一つと考えている。

利用者へ向けた効果的な広報手段が課題として挙げられるが、今後の利用状況の推移によっては、この予算を別の資料解約に係るセーフネット構築施策に充当することを視野に入れておく必要がある。例えば、株式会社サンメディア・ユサコ株式会社提供の RapidILL への切り替えがその一つである。RapidILL とは、電子による論文・書籍チャプターの貸借に特化した図書館間相互利用システムで、世界 600 機関で利用されており、国内の同規模大学でも導入されている。今後の利用状況を注視し、利用者の利便性低下を補完できる形で、資料の利用機会を促進できる制度内容を目指して検討を進めていきたい。

注

1) 抽出条件は次のとおり。

複写貸借識別：複写、校費区分：私費、支払方法：銀行振込＋郵便振替、利用者区分：（学生）補助対象の学生区分すべて、（教員）補助対象の教員区分すべて、受渡日：（2024 年度）2024 年 4 月 1 日～2025 年 2 月 20 日、（2023 年度）2023 年 4 月 1 日～2024 年 2 月 20 日

2) 補助率から利用者負担額を計算した結果、利用者負担額の 10 円未満の端数が発生した際は、端数（1 円の桁の金額）も補助金額とし、利用者負担額に 1 円の桁の金額は設定しないという仕様にに基づき算出している。

3) 2023 年度は ILL 費用補助制度開始前のため 2024 年度と比較することを目的に、複写料金に補助割合をかけて仮に算出している。

4) 学年については、入学年度からの経過年数で算出している。休学等の履歴は考慮していないため、実際の学年とは異なる場合がある。

参考文献

ユサコ株式会社 (USACO Corporation) “商品詳細 RapidILL”
〔参照 2025.3.3〕

<https://www.usaco.co.jp/product/detail.html?pdid=315&srsltid=AfmBOoqmze05cb5vTMS-M1nvFHV0U1Y2TcBvejNKFjCqBGlw3wtmWn6>

（うえだ かほ 図書館事務室）

図書館出版物案内

1 冊子目録等

○細江文庫目録……450円 ※

わが国英語学界の重鎮、故細江逸記の旧蔵書目録。

○大阪関係資料目録……650円

昭和35年1月1 日現在所蔵の大阪府、市関係の図書・地図・近世文書・堂島文書・芝居番付・明治中期広告の総合目録。

○生田文庫・額原文庫目録……非売品 ※

在野の万葉集研究家放生田耕一の旧蔵書の一部と、故額原退蔵旧蔵書の目録。

○吉田文庫目録……1,300円 ※

元トルコ駐在特命全権大使であった故吉田伊三郎の旧蔵書目録。

○岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録……1,500円 ※

江戸時代末期の国学者岩崎美隆の旧蔵書目録と、幕末の漢学者五弓雪窓の旧蔵書目録。

○増田涉文庫目録……6,000円 ※

わが国魯迅研究の第一人者であった元文学部教授故増田涉の旧蔵書目録。魯迅の全著作の初版本他。

○矢口文庫目録……2,700円 ※

本学の元学長で、イギリス経済史学界の重鎮であった故矢口孝次郎の旧蔵書目録。

○極東国際軍事裁判資料目録……非売品 ※

極東国際軍事裁判における検察側及び弁護側提出の書証と関係資料の目録。

○近世文書目録 ※

その一……1,350円、その二……2,000円

大阪周辺の庄屋文書を核に、ほぼ全国各地の近世文書を加えたコレクション。

○大阪文芸資料目録……3,500円 ※

明治以降の、大阪にゆかりのある作家・画家・芸人などの作品や大阪を題材とした作品などの本学所蔵コレクションの目録。

○内藤文庫漢籍古刊古鈔目録……2,500円 ※

内藤湖南・伯健父子旧蔵書の一部善本類の目録。

○内藤文庫リスト No.1～No.5…非売品（ただし、No1は品切）※

○芝居番付目録……8,000円 ※

大阪を中心とする宝暦から昭和に至る歌舞伎、浄瑠璃等の芝居番付約6,500点の目録。

○摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録……非売品

○河内国丹北郡六反村谷川家文書目録……非売品

○摂津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録……非売品

○和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録……非売品

○和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録……非売品

2 CD-ROM版

○内藤文庫目録 KUL-bijou……非売品

3 図書館出版図書

○おおさか文藝書画展 図録……2,000円

平成6年9月、図書館創設80周年記念・文学部創設70周年記念として開催した「おおさか文藝書画展—近世から近代へ—」の図録

注 ※印は関西大学図書館ウェブサイトの文庫・コレクションにて目録を公開している。
(<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/search/collection>)

『関西大学図書館フォーラム』投稿要項

制定 平成 8 年 3 月 31 日

概要を次のように定める。

(1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・投稿記事いずれの場合も、本学の教育職員並びに本学図書館所属の職員を執筆者とする。

(2) 原稿の内容

次のいずれかで、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

(3) 掲 載

予定の紙幅を超える寄稿があったときは、掲載する号を図書館長が決定する。

(4) 謝 礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼を贈呈する。ただし、抜刷は提供しない。

(5) 投稿先

関西大学図書館事務室（TEL 06-6368-1157）
電子メール（lib-ent@ml.kandai.jp）

(6) 執筆要領

- ア 本誌 1 ページにつき 2,070 字相当とする。
- イ 原稿は横書き、電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体での提出を原則とし、手書き原稿も可とする。
- ウ 電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体で提出する場合は、ブレインテキスト（txt）形式もしくはワープロ形式を原則とする。
- エ 本文中に図・表または写真を掲載する場合は、その相当分の字数を割愛する。
- オ 原稿は次の順に記載する。

- ① 標題、② 執筆者名、③ 本文、④ 注記、⑤ 引用文献、⑥ 参考文献、⑦ 執筆者名の読みがな・職名

カ 原稿の表記は、次に従うものとする。

- ① 漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある場合は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」「、」を用いる。
- ② 数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。
- ③ 引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。

a. 雑誌論文の場合

筆者名“論文標題”『雑誌名』巻（号）、年月、ページ

b. 図書の中の一部引用の場合

著者名“論文標題”『書名』（図書の著編者名）出版地、出版者、出版年、ページ

c. 図書の場合

著者名『書名』出版地、出版者、出版年

d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す（印刷では、イタリック体活字になる）。

〔例〕Downs, Robert B. “How to start a library school.” *ALA Bulletin* 52(6), 1995. 6, pp. 32-48.

e. インターネット上の文献

著者名“文献標題”〔参照年月日〕（URL）

〔例〕永沼博道“21 世紀の大学図書館に向けて—伝統と現代化の相克”〔参照 2003. 1. 20〕

（URL）https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?action=common_download_main&upload_id=508

f. その他

a. ～ e. に記載方法を定めていない文献、書誌要素等については、科学技術情報流通技術基準（SIST: Standards for Information of Science and Technology）の参考文献の書き方（SIST02-2007）に準拠する。

キ 図・表は、図 1、図 2、表 1、表 2、fig. 1 のように記す。図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するとき、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図 1、図 2、表 1、表 2 のように番号を鉛筆書きのこと。

ク 校正は、初校を執筆者に依頼し、再校以降は図書館が行うことを原則にするが、必要のある場合は、再校以降についても執筆者の協力を得るものとする。

(7) 掲載された著作物の著作権

掲載された著作物の著作者は、当該著作物に関する複製及び公衆送信を関西大学図書館に対して許諾したもののみなす。関西大学図書館が複製及び公衆送信を第三者に委託した場合も同様とする。

以 上

2023 年 6 月 14 日改正（この要項（改正）は、2024 年刊行予定の第 29 号から適用する。）

編集後記

図書館フォーラム第30号を無事にお届けできる運びとなりました。お忙しいなか原稿をお寄せくださった皆さま、編集にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

私事で恐縮ですが、人事異動により7年ぶりに他部署から図書館事務室へ戻って参りました。館内の変化に驚かされることも多く、書架の増設やデジタル資料の増加が目を引きました。一方で、地下書庫の静謐さと書物の独特な香りは変わらず、大変懐かしく感じました。現在総合図書館では、スペースをより有効活用するため、1階雑誌架と書庫資料の再配置作業を進めています。以前の配置場所を覚えている方には、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解いただけますと幸いです。

今号では、2024年度に購入した資料や新しいサービスの紹介、図書館外にて活躍する資料紹介、図書館自己点検・評価について様々な統計データを更新して公開しています。

私たちはこれからも、大学を取り巻く状況の変化を敏感に受け止め、利用者の多様なニーズに応えられる図書館づくりを目指してまいります。皆さまとともに、より良い図書館を育てていければと思います。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

(徳岡久実)

図書館フォーラム編集担当
徳岡 久実・吉永 栄子・村松 和香

関西大学 図書館フォーラム 第30号 (2025)

2025年6月30日発行

編集・発行 関西大学図書館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1157
<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>

制作 (株)遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL 06-6304-9325



Kansai University
Library Forum